別紙一1

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(監督員)

考查項目	細	別		b	С	d	е						
1. 施工体制	I. 施工体			□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である						
			●「評価対象項目」 □ 施工体制一般に関し	て、監督員からの文書によるほ	改善指示に従わなかった。								
			上記該当項目があれ	上記該当項目があれば・・・・・・・・e									
			□ 施工体制一般に関し	て、監督員が文書による改善技	指示を行った。								
			上記該当項目があれ	ば・・・・・d									
			□□関係書類、出来形、□□元請が下請の作業成□□施工計画書の内容と□□緊急指示、災害、事□□現場に対する本店や□□エ場製作期間におけ	手前に提出している。 施工体制台帳及び施工体系図 品質等の確認を工事全般にわれ 果を検査している。 現場施工方法が一致している。 故等が発生した場合の対応が 支店による支援体制を整えてい る技術者を適切に配置している。	たって実施している。 東やかである。 いる。	○ 確認方法等)を整えている。)							
			評価値が60%以上80	b %未満 c d	② 削除項目のある場合は計算の値で評価する。③ 評価値(%) = () 計算	のうち、評価対象外の項目は肖 削除後の評価項目数を母数とし 評価数/評価対象項目数 () 象項目数が2以下の場合はci	して計算した比率(%)						
			※施工体制一般とは現場作	代理人等指定通知、工事カルテ、第	建設業退職金共済制度等、施工状	況報告書、施工体制台帳、施工体	F系図、建設業許可標識を指す。						

Ⅱ.配置技術	活 □ 適切である	□ ほぼ適切である		他の評価に該当しない		やや不適切である		不適切である			
(現場代理人等	●「評価対象項目」 □配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
	上記該当項目があれ	ば・・・・・d									
	【全体を評価する項目】 □ □配置技術者について指摘事項がない。 □ □作業に必要な作業主任者及び専門技術員を選任及び配置している。 【現場代理人を評価する項目】 □ □ 現場代理人が、工事全体を把握している。 □ □ 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている。 □ 監督員への報告を適時及び的確に行っている。 【監理(主任)技術者を評価する項目】 □ □ 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。 □ □ 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 □ □ 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している。 □ □ 応工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。 □ □ 応工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 □ □ 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。										
		・・・・・・ a 未満・・・・・ b ・・・・・・ c	2 f 3	当該「評価対象項目」の 削除項目のある場合は 計算の値で評価する。 評価値(%)=() なお、削除後の評価対象	削除後 <i>0</i> 評価数/	り評価項目数を母数とし 評価対象項目数 ()	ンて計算	(した比率 (%)			
	※配置技術者とは、現	場代理人、監理・主任技術者の)専任制	を指す。							

2. 施工状況	I.施工管理			ほぼ適切である		他の評価に該当しない		やや不適切である		不適切である
		●「評価対象項目」□ 施工管理に関して、	監督員	からの文書による改善	旨示に従	 				
		上記該当項目があれ	ば・・	• • • • • • e						
		□ 施工管理に関して、	監督員;	が文書による改善指示	を行った	5 .				
		上記該当項目があれ	ば・・	• • • • • • d						
		□□施工管理について指□□施工計画書が設計図□□現場条件の変化に理書が設に理事の品質ででででででは、日常の品質ででででででででいる。□□は場内の整理をでででででででいる。□□はまででででででいる。□□はは、□□はは、ででででででででででででででででででででででできる。	書し設計日書な等び、図書別ので、図書ので、図書ので整めていまました。	現場条件を反映したもの適切に対応している。 書及び施工計画書に基づ 及び施工計画書に基づ に行っている。 写真等を整理している。 理している。 取り組みを適切に行って	づき適時 き適時 <i>が</i> ている。	寺及び的確に行っている 及び的確に行っている。		ている。		
		●判断基準 評価値が80%以上・ 評価値が60%以上80 評価値が60%未満・	%未満	• • • • · · · · c	② ③	当該「評価対象項目」の 削除項目のある場合は 計算の値で評価する。 評価値(%)=() 記 なお、削除後の評価対象	削除後 <i>0</i> 平価数/)評価項目数を母数とし 評価対象項目数 ()	ンて計算	した比率 (%)
		※施工管理とは、設計図	図書の照	聚查等、施工計画書、 J	事の着	手、建設副産物及び建	設廃棄	物、指定建設機械類の	確認を指	拿す。

Ⅱ. 工程管理	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該	当しない	やや不適切である	□ 不適切である					
	●「評価対象項目」 □ 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。										
	上記該当項目があれ	ば・・・・・・・e									
	□工程管理に関して、	監督員が文書による改善指示	を行った。								
	上記該当項目があれ	ば・・・・・d									
	□ □ 実施工程表の作成及 □ □ 現場条件の変化への □ □ 時間制限や片側交互	的確に把握し、それらを反映 びフォローアップを行ってお 対応が迅速であり、施工の停泊 通行等の各種制約への対応が ための取り組みを行っている。 い、工程の遅れがない。 いる。	り、適切に工程を管理 帯が見られない。 適切であり、大きなエ	している。	\°,						
	●判断基準 評価が90%以上・・ 評価が80%以上90% 評価が80%未満・・	未満・・・・・b	② 削除項目のある 計算の値で評価 ③ 評価値(%)=	5場合は削除後の 5する。 = () 評価数/	、評価対象外の項目は肖 の評価項目数を母数とし /評価対象項目数 () 数が2以下の場合はc割	して計算した比率(%)					

		ロールが楽団ったフ		ローめめて盗切べとフ	ロー 不達切べたフ								
Ⅲ. 安全対策	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である 								
	●「評価対象項目」□ 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。												
	上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												
	□ □ 新規入場者教育の内□ □ 工事期間を通じて、□ □ 過積載防止に取り組□ □ 仮設工事の点検及び□ □ 保安施設の設置及び	1回/月以上行っている。 練等を半日/月以上実施してい 容に、当該工事の現場特性を別 労働災害及び公衆災害が発生 んでいる。 管理を、チェックリスト等を別	叉映している。 しなかった。 用いて実施している。 間の協議に基づき実施している))									
	●判断基準 評価が90%以上・・・・・・・・ a 評価が80%以上90%未満・・・・・ b 評価が80%未満・・・・・・ c												
	※安全対策とは、安全活	舌動、安全パトロールの指摘事	耳項の処理を指す。										

IV. 対外関係	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である				
	●「評価対象項目」 □ 対外関係に関して、	監督員からの文書による改善	指示に従わなかった。						
	上記該当項目があれ	ば・・・・・・e							
	□ 対外関係に関して、	監督員が文書による改善指示	を行った。						
	上記該当項目があれ	ば・・・・ d							
	□□対外関係について指示事項がない。 □□関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生がない。 □□地元との調整を行い、トラブルの発生がない。 □□第三者からの苦情がない。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。 □□関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。 □□工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 □□スの他(理由:								
		・・・・・・・ a 未満・・・・・ b ・・・・・ c	② 削除項目のある場合は 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=() i	のうち、評価対象外の項目は肖 削除後の評価項目数を母数とし 評価数/評価対象項目数 () 象項目数が2以下の場合はc割	して計算した比率(%)				

23 1/154 - 1				位 5 万 且 位		(皿目具/		
考查項目	細 別	a	b	С	d	е		
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足しばら つきが少ない。又は、品質 管理が適切である。	品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足しばら つきが少ない。又は、品質 管理が概ね適切である。	品質関係の試験結果が試験 基準を満足し、a及びbに 該当しない。または、品質 管理項目がない工事。及 び、他の項目に該当しな い。		品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足せず品 質が劣る。又は、品質が不 備である。		
総合 ● <u>評定に対応するシートを下記の中から必ず選択(チェック)して、以降の該当シートを1つだけに記入すること。</u>								
	エラー:対象 シート確認!							
	У Гивро.	〇 機械設備工事						
		電気設備工事・電気通信設備	帯工事・受変電設備工事					
		●上記で選択されたシートが	『工事成績採点表に反映される。					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 別紙-1 (監督員) 考查項目 細別 工. 種 b е 機械設備工 出来形の測定が、必要な測 出来形の測定が、必要な測 出来形の測定が、必要な測 事・電気設 定項目について所定の測定 定項目について所定の測定 定項目について所定の測定 出来形及び 改造請求を行っ 基準に基づき行われてお 基準に基づき行われてお 出来形 備工事・電 基準に基づき行われてお 文書で改善指示を行った り、測定値が規格値を満足 出来ばえ り、測定値が規格値を満足 り、測定値が規格値を満足 気通信工事 し、そのばらつきが規格値 し、そのばらつきが規格値 し、a、bに該当しない。 以外 の概ね50%以内である。 の概ね80%以内である。 ●「評価対象項目」 □ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・e □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・d □出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 上記該当項目があれば・・・・・・a □ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 上記該当項目があれば・・・・・・b □ 出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足し、a及びbに該当しない。 上記該当項目があれば・・・・・・c ① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格 値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準により

がたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。

④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。

出来形及び 出来ばえ	出来形	機械設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	文書で改善指示を行った	□ 改造請求を行っ た
			●「評価対象項目」 □ 契約書第17条に基	- づき、監督員が改造請求を行-	った。		
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・e			
			□ 出来形の測定方法又	【は測定値が不適切であったた》	め、監督員が文書で改善指示を	行った。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・ d			
			□□設備全般にわたり、□□施工管理基準の撮影□□設計図書で定められ□□添装管理基準の途膜□□溶接管理基準の出来 □□□な技管理基準の出来□□□社内の管理基準に基□□設計図書に定められ	形状及び寸法の実測値が許容能記録が撮影基準を満足していたでいない出来形管理項目についた写真撮影している。 享厚管理を適切にまとめている。 一部管理を適切にまとめている。 一でき管理している。 している予備品に不足がない。	る。 いて、監督員と協議の上で管理	している。	録している。
			評価値が60%以上80	・・・・・・・ a)%未満・・・・・ b ・・・・・・ c	② 削除項目のある場合は削計算の値で評価する。③ 評価値(%) = () 許	のうち、評価対象外の項目は削 別除後の評価項目数を母数とし ² 価数/評価対象項目数() ² 項目数が2以下の場合はc割	て計算した比率(%)

出来形及び 出来ばえ	出来形	電気設備工 事・電気無 信設備工 事・受変電 設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	文書で改善指示を行った	□ 改造請求を行っ た
			●「評価対象項目」 □ 契約書第17条に基	づき、監督員が改造請求を行っ	った。		
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・・e			
			□出来形の測定方法又	は測定値が不適切であったたと	め、監督員が文書で改善指示を	行った。	
			上記該当項目があれ	ば・・・・・・d			
			□ 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形 □ 機器等の測定(試験)結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に質 □ 不可視部分の出来形を写真撮影している。 □ 設計図書に定められていない出来形管理項目について、監督員と協議の上で □ 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内にある。 □ 設備の据付及び固定方法が設計図書又は承認図書通り施工している。 □ 配管及び配線が設計図書又は承認図書通りに敷設している。 □ 測定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 □ 加定機器のキャリブレーションを、定期的に実施している。 □ 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている □ 配管及び配管の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足して □ 社内の管理基準に基づき管理している。 □ その他(理由:	などに記録され、適切に管理し いて、監督員と協議の上で管理 節囲内にある。 通り施工している。 している。 している。 している。 易く堅固に取り付けている。	.ている。 !している。		
			評価値が60%以上80%	・・・・・・・ a %未満・・・・・ b ・・・・・・ c	② 削除項目のある場合は 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () i	のうち、評価対象外の項目は削削除後の評価項目数を母数とし 削除後の評価項目数を母数とし 評価数/評価対象項目数() 象項目数が2以下の場合はc割	して計算した比率(%)

23-17/19-7			貝派点り有且	タロック 耳 タ	口 加 连 用 孜	(無目具/			
考查項目	細 別	a	b	С	d	e			
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足しばら つきが少ない。又は、品質 管理が適切である。	_ 値、試験基準を満足しばら	品質関係の試験結果が試験 基準を満足し、a及びbに 該当しない。または、品質 管理項目がない工事。及 び、他の項目に該当しな い。		品質関係の試験結果が規格 値、試験基準を満足せず品 質が劣る。又は、品質が不 備である。			
	総合	●評定に対応するシートを下記の中から必ず選択(チェック)して、以降の該当シートを1つだけに記入すること。							
	エラー:対象 シート確認!	● 維持修繕工事・機械設備工事・電気設備工事・電気通信工事・受変電設備工事以外							
	y peper.	〇 維持・修繕工事							
		〇 機械設備工事							
		○ 電気設備工事・電気通信設	備工事・受変電設備工事						
		●上記で選択されたシート	が工事成績採点表に反映される。						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(監督員)

考查項目	細 別	工種	a	b	С	d	е				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	維持修繕工 事・化 場・ 場・ は ま は 電 気 り 電 気 の 電 気 の 電 気 の で る の で る の で る の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の ら の	品質測定が、必要な測定項 目について所定の測定基準 に基づき行われており、測 定値が規格値を満足し、そ のばらつきが規格値の概ね 50%以内である。	品質測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	前負側定が、必要な側定項 目について所定の測定基準 に基づき行われており、測	口 文書で改善指示を行った	□ 改造請求を行った				
		事以外	●「評価対象項目」								
			□ 契約書第17条に基づき、	□ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。							
			上記該当項目があれば・・	• • • • • e							
			□ 出来形の測定方法又は測定	直が不適切であったため、監督員が文	書で改善指示を行った。						
			上記該当項目があれば・・	• • • • • • d							
			□ 品質関係の試験結果が規格化	直、試験基準を満足し、ばらつきが規	l格値の概ね50%程度以内である。						
			上記該当項目があれば・・	• • • • • • a							
			□ 品質関係の試験結果が規格付	直、試験基準を満足し、ばらつきが規	格値の概ね80%程度以内である。						
			上記該当項目があれば・・	• • • • • • b							
			□ 品質関係の試験結果が試験	基準を満足し、a 及び b に該当しない	0.0						
			上記該当項目があれば・・	上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
3. 出来形及 び出来ばえ	Ⅱ.品質	維持・修繕 工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ 文書で改善指示を行った	□ 改造請求を行った				
O III NIA			上記該当項目があれば・・ □□常に緊急的な作業に対応で □□緊急的な作業に対し、迅速(□□監督員の指示事項に対し、3	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ついて提案を行うなど、積極的に取り 提案等を行っている。 注 記載の4項目を必須の評価対	組んでいる。 象項目とし、この他に適宜項目を追加 評価対象項目は最大8項目とする。	して				

3. 出来形及	Ⅱ. 品質	機械設備工	□ 適切である		□ 他の評価に該当しない		文書で改善指示を行った		 改造請求を行った		
び出来ばえ		事	●「評価対象項目」	口 ほほ過多くのる			人自て飲品頂がでけった		以返出水で11 7 に		
			□ 契約書第17条に基づき、5	監督員が改造請求を行った。							
			上記該当項目があれば・・・	• • • • • • е							
			□ 品質関係の測定方法又は測定	E値が不適切であったため、監督員が	文書で改善指示を行った。						
			上記該当項目があれば・・・	· · · · · · · d							
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	□ 設備の機能及び性能を、承認図書のとおり確保している。 □ 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出している。 □ 機能及び性能を対験計図書を満足して、成績書にまとめられている。 □ 強装管理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 □ 強装等理基準の品質管理項目について規格値を満足している。 □ 操作制御設備のついて、操作スイッチや表示灯を承諾図書のとおり配置し、操作性に優れている。 □ 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 □ 操作制御設備の安全装置及び保護装置が承諾図書のとおり機能している。 □ 設備の取扱説明書を工夫している。 □ 完成図書・(取扱説明書) に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 □ 完成図書・(取扱説明書) に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 □ 完成図書・(取扱説明書) に定期的な点検及び交換を必要とする部品並びに箇所を明示している。 □ 一機器の配置が点検しやすいよう工夫している。 □ □ 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるよう工夫している。 □ 二次コンクリートの配合試験検証が実施され、試験成績表にまとめられている。 □ □ 一次コンクリートの配合試験を示すラベルなどが見やすい状態で表示している。 □ □ 機器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 □ □ 機器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 □ □ 機器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 □ □ 機器類に運転時の適用範囲を見やすく表示している。 □ □ 世帯の今劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 □ 現地状況を勘案し施工方法等について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 □ その他(理由:							
			●判断基準 評価値が80%以上・・・ 評価値が60%以上80%未満 評価値が60%未満・・・・	· · · · · b	 当該「評価対象項目」のうち、 削除項目のある場合は削除後の計算の値で評価する。 評価値(%)=()評価数/ なお、削除後の評価対象項目数 	評価項目 評価対象	数を母数として計算した比率 項目数 ()	ž (%)			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	電気設備工 事・電気通	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない		文書で改善指示を行った		改造請求を行った		
. , ,,,,,,		信設備工 事・受変電	●「評価対象項目」 □ 契約書第17条に其づき 原	と 叔昌が弘洪建立を行った							
		設備工事	□ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
			上記談当項目がめれは・・・・・・・・・・・・・ e □ 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。								
			上記該当項目があれば・・・		人自て収占頂がでけった。						
			□ 製作着手前に、品質や性能に □ 材料、部品の品質照合の結合 □ 機器の品質 機能及び性能が □ 操作スイッチや表示灯が承な □ 操作の機能及び性能が設計性の機能及び性能が設計して機能がが設計して機能がが設計を関係の機能及び性智 □ 設備の総合性能が、器を取扱にある機や3。 □ 現場条件によって機器取扱説明の完成の書で定期的な点検や3。	工確保に係る技術検討を実施している。 長が、品質保証書等(現物照合を含む) が、設計図書を満足し、成績書にまと 搭図書ののとおり配置され、操作性に任 どの作業が施工計画書に記載された手 図書の仕様を満足している。 もが、仕様を満足しているとともに、、) で確認でき、設計図書の仕様を満足 められている。 優れている。 順に沿って行われ、不具合がない。 必要な安全装置及び保護装置の作動が 合において、工場試験などで確認して 含む) の場合は、修正又は更新) して いる。	確認でき いる。					
			●判断基準 評価値が80%以上・・・ 評価値が60%以上80%未満・ 評価値が60%未満・・・・	· · · · · · b	① 当該「評価対象項目」のうち、 ② 削除項目のある場合は削除後の 計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/ ④ なお、削除後の評価対象項目数	評価項目 評価対象	数を母数として計算した比率 項目数 ()	£ (%)			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】該当する対応事項及び対応事例の□にレマークを記入する。

考 査 項 目	細 別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への	I 構造物の特殊性への対応	
	対応	□ 1.対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の 対象が特殊な工事	(1.について) [共通] 切土の土工量:20万m3以上、盛土の土工量:15万m3以上、護岸・築堤の平均高さ:10m以上、トンネル(シールト)の直径:8m以上、ダム用水門の設計水深:25m以上、樋門又は樋管の内空断面積:15m3以上、揚排水機場の排出管径:2,000mm以上、堰又は水門の最大径間長:25m以上、堰又は水門の径間数:3径間以上、堰又は水門の扉体面積:50m2/門以上、トンネル(開削工法)の開削深さ:20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積:100m2以上、トンネル(沈埋工法)の内空平均面積:300m2以上、海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅100m以上かつ法長150m以上、浚渫工の浚渫土量:100万m3以上、流路工の計画高流水量:500m3以上、砂防・治山ダムの提高:15m以上、ダムの提高:150m以上、転流トンネルの流下能力:400m3以上、橋梁下部工の高さ:30m以上、橋梁上部工の最大支間長:100m以上
			[環境森林] ・切土及び盛土の合計土工量:5万m3以上 ・護岸、土留工高:8m以上 ・トンネル内空断面積:20m2以上 ・山腹工施工面積:1ha以上 ・橋梁下部工高さ:15m以上 ・橋梁上部工最大支間長:30m以上 ・林道開設延長:1500m以上
			[農政] ・切土及び盛土の合計土工量:5万m3以上 ・開水路工流量:20m3/s以上 ・推進工の管径(羽口、泥水加圧):2000mm以上 ・頭首工径間数:4以上 ・ゲート工面積:50m2以上 ・水路トンネル(従来工法)高さ:H>4m、又はH<1.8m
		□ 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が 特に変化する工事	(2.について) [共通] ・砂防・治山工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・供用中の道路トンネルの拡幅工事。
		□ 3. その他 (理由:) ※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば2.6点の加点とする。	(3.について) [共通] ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。

Ⅱ作業環境、	社会条件等への対応	
	4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する 工事	(4.について) [共通] ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 [農政] ・供用中のトンネル等の直上での工事。
	5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事	(5.について) [共通] ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。 [農政] ・通水中の水路等の工事。
	6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事	(6.について) [共通] ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。
	7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事	(7.について) [共通] ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々 行った工事。
	8. 緊急時に対応が特に必要な工事	(8.について) [共通] ・緊急時の作業があり、その作業のすべてに対応した工事。
	9. 施工箇所が広範囲にわたる工事	(9.について) [共通] ・作業現場が広範囲に分布している工事。
─────────────────────────────────────	10. その他 (理由:) の対応事項に1つ以上のレ点が付けば3.9点の加点とする。	(10.について) [共通] ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。

	Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応 □ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事	(11.について) [共通] ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留などが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確にはあくする必要が生じた工事。
	□ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事	(12.について) [共通] ・河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 ・集中豪雨による災害又は積雪等により工程や施工方法に制約を受けた工事にもかかわらず当初工期内で完成させた。
	□ 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事	(13.について) [共通] ・急峻な地形のため、作業構台や作業床・施工ヤードのせってが制限される工事。 もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の 安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・主たる工種で山林砂防工が適用となる箇所の工事。 [環境森林] ・治山工事で山地災害危険地区に指定された区域内における工事。 ・山腹工事でケーブルクレーンやモノレールなどの運搬手段に制限があり、機械使用 など施工に制約を受けた工事(法面工法は除く)。 ・山腹工事で床掘等が人力以外に不可能である工事。
	□ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない 工事	(14.について) [共通] ・貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。
	□ 15. その他 (理由:) ※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば2.6点の加点とする。	(15.について) [共通] ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特の評価すべき事項が認められる工事。
	Ⅳ長期工事における安全確保への対応	
	□ 16.12か月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面 ー 時中止期間を除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 □ 17.その他 (理由:)	(16.について) [共通] ・長期工事 例えば(設計工期15か月間等)や変更事由が発生して15か月間になった 場合で、現場の工期が12か月を超えた工事。
	※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば3.9点の加点とする。	
評 価	評点 0.0 点 (最大13点)	※1. 工事特性は最大20点の加点評価とする。 ※2. 評価にあたっては、監督員等の意見等も参考に評価する。

別紙一1

工事成績採点の考査項目の考査項目別運厂

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

5. 創意工夫	□ は、一は一般の表し、
※ ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用ンステム」 美施要領で定める「有用とされる技術」をいう。 ※ 複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが最大3点の加点とする。複数の技術が同 一の評価項目に該当した場合、当該技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。	

	【品質】	, 養生に関する工夫。 クリート二次製品等の使用材料に関する工夫。)
	本項目は2点の加点とする。 安全を確保するための仮設が 安全教育、技術向上講習会、 現場事務所、労務者宿舎等の 「有毒ガス並びに可燃ガスの気	備等に関する工夫。(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、⅓ ・安全パトロール等に関する工夫。 の空間及び設備等に関する工夫。 処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。	立入禁止柵、手摺り、足場等))
記述評価 (レマークを付した評 価内容を詳細記述)	評点 0点 (最大7点)	詳細評価内容欄	

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 評価は各項目において1つレ点が付されれば1,2,3点で評価し、最大7点の加点評価とする。 ※3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ※4. 上記の考察事項の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的な内容を記載して加点する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(総括職員)

		<u> </u>	7 V V V V V V V V V V V V V V V V V V V			
考查項目	細 別	а	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	□ 優れている	□ やや優れている	■ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
		□ □ 工程管理を適切に行ったこ □ □ 工程管理に係る積極的な取 □ □ 災害復旧工事など特に工期	こ取り組み、遅れを発生させること とにより、休日や夜間工事の回避等 り組みが見られた。 的な制約がある場合において、余裕	なく工事を完成させた。 を行い、地域住民に公共工事に対		
		●上記該当項目を総合的に	判断して、a、b、c、d、e評価	lを行う。(必ずチェックすること))	
		Оа	О Ь	● c	O d	Ое

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(総括職員)

			<u> </u>	<u> </u>		
考查項目	細 別	а	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	□ 優れている	□ やや優れている	■ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
		□□安全衛生を確保するための名 □□□安全衛生を確保するため、名 □□□安全対策に関する技術開発 □□□安全対策に係る取り組みが封 □□□マの他(理由:	的に取り組んだ。 地域から評価された。	flんだ。)	
		O a	O _p	● ^c	O d	Ое

別紙-2 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(総括職員)

		7 / 7			
考查項目	細	別	a	b	С
6. 社会性等	I. 地域へ	の貢献等	□ 優れている	□ やや優れている	■ 他の評価に該当しない
			● 評価対象項目 □ □ 周辺環境への配慮に積極的に取りに 現場事務所や作業現場の環境を周に	辺地域との景観に合わせるなど、積極的に会等を実施して、積極的に地域とのコミ ・地域に貢献した。 に参加し、地域とのコミュニケーション	ュニケーションを図った。 を図った。 的な協力を行った。)

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表		
7. 法令遵守等			
(工事事故等 による減点)	措 置 内 容	点数	
	□ 1. 指名停止 3ヶ月以上	-20点	
	□ 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	1
	□ 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	
	□ 4. 指名停止 2週間以上 1 ヶ月未満	-10点	
	□ 5. 文書注意相当	- 8点	
	□ 6. 口頭注意相当	- 5 点	
	7. 工事関係者事故又は公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、 口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3 点	
	□ 8. 項目該当なし		
	② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社のれを履行をするために従事する者に限定する。 【上記で評価する場合の適応事例】 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚為の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継を行った。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判5. 当該工事関係者が贈収賄などにより逮捕又は公訴された。		こあたって下請契約し、そ
	3. 国該工事関係有が開収開保された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法ある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等にシート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っ 14. 安全管理の措置が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又はは重大な損害を与えた	企業舎弟等、暴力団関係者が 関する法律」第9条に記され ていることが判明した。	いることが判明した。

Πr	TIVIT.	0
ĦΙ	不区	— .n

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

		a	Ъ	С	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の事項に該当しない	□ やや不備である	□ 不備である
2. 施工状况	I. 施工管理	●「評価対象項目」 □施工体制一般に関し 上記該当項目があれる □施工体制一般に関し 上記該当項目があれる □施工体制一般に関し 上記該当項目があれる □契約約款18条第1= □契約約計画間があれる □型約約計画では計算にです。 □□工事材料のの手続利が直にきる。 □□は記し、対対のが表別では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対対では、対	て、監督員からの文書による改 ば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 書指示に従わなかった。 書の照査を行っている。 記載が一なとともに、設計法が一致している。 お変更計画でいる。 で的確に整備している。 で的確に整備している。 でいる。 がいる。 <	計図書の内容及び現場条件を反 画書を提出している。 のうち、評価対象外の項目は削 可除後の評価項目数を母数とし 評価数/評価対象項目数()	除する。 て計算した比率 (%)
				(国) は40、円間が反り計画別多	快項目数が2以下の場合はc評	叫 (

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別	а	b	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当 しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	総合	●評定に対応するシートを下記の中から	 	! <u>トを1つだけに記入する</u>	<u> </u>	
	エラー:対象 シート確認!	機械設備工事・電気設備工事・電気通信機械設備工事				
		□ 電気設備工事・電気通信設備工事・受変	電設備工事			
		●上記で選択されたシートが工事成績採	点表に反映される。			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用 (検査員)

/-	3/15/ 0						且 仅 口 加 以	* /1	(1大五只)
				a	b	С	d		е
	3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	機械設備工事・ 電気設備工事・ 電気通信工事以 外	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値を機は50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつ		□ 文書による改善 指示を行った。	□ 指	書による改善 旨示に従わな かった。
				●「評価対象項目」 □ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であっ	たため、検査員が補修指示を行った。				
				上記該当項目があれば・・・・・・・・	e				
				□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であっ	たため、監督員が文書で指示を行い改善された。				
				上記該当項目があれば・・・・・・・・	d				
				□□ 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形□□ 社内の管理基準に基づき管理している。□□ 不可視部分の出来形が写真で確認できる。□□ 写真管理基準の管理項目を満足している。□□ 出来形管理基準が定められていない工種につ□□ その他(理由:					
				※上記項目を評価した後、以下のばらつきの評価をしてください。□ ばらつき 50%以下□ ばらつき 80%以下□ ばらつき 80%超□ ばらつきで判断不可能	① 出来形の評定は、工事全般を通したものとす ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」 値に基づき所定の出来形を確保する管理体系 がたい場合等については、監督員と協議の上 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c	9の形状及び寸法をいう。 の測定項目、測定基準及び であるが、当該管理基準に 1で出来形管理を行うもので	より		

											$\overline{}$		
3.出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	機械設備工事		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている		劣っている	
				平価対象項目」 出来形の測定方法又は測定値が不適切であっ	たため、村	倹査員が補修指示を行った。							
				上記該当項目があれば・・・・・・・・	e								
				出来形の測定方法又は測定値が不適切であっ	たため、闘	監督員が文書で指示を行い改善された。							
				上記該当項目があれば・・・・・・・・	d								
		#DIV/0!		据付に関する出来形管理が容易に把握できる設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し設計図書で定められていない出来形管理項不可視部分の出来形が写真で確認できる。塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめて溶接管理基準の出来形管理が適切にまとめて社内の管理基準に基づき管理している。設計図書に定められている予備品に不足がな分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等その他(理由:	たついて、 おり、出き おり、出き い。	監督員と協議の上で管理している。 来形の確認ができる。 来形の確認ができる。	図表等に	ニ記録している。					
			•	判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ a	2	当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を 計算の値で評価する。	母数と	削除する。 して計算した比率(%)				
				評価値が80%以上90%未満・・・・・ b		評価値(%)=()評価数/評価対象項目数 なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場		評価とする。					
				評価値が60%以上80%未満・・・・・ c									

3.出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	電気設備工事・ 電気通信設備工 事・受変電設備 工事	優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		やや劣っている	劣っている
		#DIV/0!	田本形の測定方法又は測定値が不適切であった記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	e た d よ y 表 い 範書 L b y 表 い で の で が か い で の で り か お か い で の で り か お か い で の で り か か か か か か か か か か か か か か か か か か	登員が文書で指示を行い改善された。 登電図及び出来形管理表を工夫している。 記録され、適切に管理している。 佐督員と協議の上で管理している。 さり施工している。 さり施工している。 ほに取り付けている。 ほに取り付けている。 ほに取り付けている。 ほんにおり付けている。 ほんにおり付けている。 ほんにおり付けている。 これのである。 はんにおり付けている。 はんこうにおり	項目は 母数と	して計算した比率	(%)		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

				<u> </u>	<u> </u>	11 /34 100 / 14 24	
考查項目		細 別	а	b	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	П.	品質	□ 品質管理が適切である。	□ 品質管理が概ね適切である。	□ 他の項目に該当しない。	□ 品質管理がやや不備である。	□ 品質管理が不備である。
品質 総合評価		●土木、建築工事 共通 ●とちらかを選択	● 最大3工権にて評価(選択した考査項目運用表を下記に必ず 選択した考査項目運用表 工種名 ※複数工種選択の場合比率のみで評価 またる1工種だけで評価(選択した考査項目運用表を下記に必 エラー:下欄項目選択なし 確認!	評価の対象項目とした数 比率 ●該当しないシートは評価しないこと。該当する考査項目運用	<u>-</u>	□ 監督職員が文書で改善指示を 行った。 ●下欄で選択したシート以外のシー	□ 契約書第○条○項に基づき 破壊検査を行った。 トをチェックしても■とはならない。
	III.	出来ばえ	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 最大3工種にて評価 ※1項目しか工種を選択して いなくても率で評価するので注意 主たる1工種だけで評価	□ 仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い。 評価項目のうちチェックをした数 評価項目のうちチェックをした数	□ 他の事項に該当しない場合-0%-	世上げが悪く、全体的に美観 が悪い。	

●考査項目運用表を下記から必ず選択しチェックすること。 (チェックしないと工事成績採点表に反映されない。)

コンクリート構造物工事 土工事(切土、盛土、築堤等工事) 護岸・根固め・水制工事 調橋工事(RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる) 砂防構造物工事・治山構造物工事及び地滑り防止工事(抑止杭・ 舗装工事 下水道工事 法面工事 基礎工工事及び地盤改良工事 コンクリート橋上部工事(PC及びRCを対象) 塗装工事 レネル工事 植栽工事 し 競機(網)・標識・区画線等設置工事	機械設備工事 電気通信工事・受変電設備工事 電気通信工事・受変電設備工事 二次製品構造物・コンクリート二次製品工事(L型擁壁、ボックスカ 補強土壁工事 間線共同溝工事 (農政部)区画整理(ほ場整備)工事 【農政部)国本路工事 【農政部)音味排水工事 【農政部)ライルダム・ため池工事 【農政部)フィルダム・ため池工事 【農政部)オ路補修工事・目地補修工・断面修復工・表面被覆工・維持工事・清掃工・除草工・付属物工・除雪・応急処理等) 取り壊し工事 仮設工工事	□ #エ・筋工・伏工工事 士工事 (農地造成) □ 林道土工工事 木材木製品工事(木ダム、木橋、木土留工、木流路工等) □ その他の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事(A:ばらつ □ その他の工事(情報ボックス、浚渫工事等)又は合併工事(B:ばらつ
---	--	--

別紙一3

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細 別	工種	П		b	С	□ d	□ e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	コンクリート構造物工	品質関係の試験結果のばらつきと評価対 土木工事施工管理基準、その他設計図書		評価値)から判断する。<判断差	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	文書で指示を行っ	た補修指示を行った
			□上記該当項目があれば・・・・ 品質関係の測定方法又は測定値 □上記該当項目があれば・・・・ コンクリートの配合試験及び必分量、一下ルカリーとのでは対したのでは、では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、ののでは、では、ののでは、では、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、ののでは、は、は、ののでは、は、は、ののでは、は、は、ののでは、は、は、ののでは、は、は、は、	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	。 り、温度、スランプ、空気量等6 該現場の供試体であることが確認 入高さ及び締固め方法が、定めら した後に型枠及び支保工の取り分っている。 が鉄筋に付着しないよう管理している。。 いる。 としている。) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	サ善された。 計画書により、コンクリ の測定結果が確認できる。 おれた条件を満足してい 外しを行っている。 ① 当該 「評価値をある。 計算のででである。 ③ 評価値(%)	。 ・る。 (寒中及び暑中コ ・る場合は削除後の評価 ・あまる。 = () 評価数/評価な	ンクリート等を含む) 対象外の項目は削除する。 項目数を母数として、比率(%)
	Ⅲ. 出来ばえ	コンクリート構造物工	 ● 評価対象項目	い。 い。 ・・ a ・・ b	やや優れている)	□他の評価に該当しない	■劣っている	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

			<u> </u>	7/2 /JS 1/1 ///	<u>*/ J </u>	<u> </u>	т_	<u> </u>	// / E	/11 11			
考查項目	細別	工 種		a		b			С		d		e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	土工事(切 土、盛土、築 堤等工事)	品質関係の試験結果 土木工事施工管理基:	のばらつきと評価対象項 準、その他設計図書に定	[目の履行状況(評 められた試験]	『価値)から判断する	る。<判断基	準参照>[関連基準、	文書で指	旨示を行った	補修指	示を行った
			上記該 関 係 9 よい 1 を 1 を 1 を 1 を 2 を 2 が 2 を 2 が 2 を 2 を 2 が 2 を 2 を 2	測定方法 は測定値が不不相談によりでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る場合は削隊 5する。 = () 評価	うち、評価対象外 余後の評価項目券 面数/評価対象項 頁目数が2以下の	を母数として 目数 ()	、比率(%)				
	Ⅲ . 出来ばえ	土工事(切土、盛土、築 堤等工事)	【盛士・築堤】 ● 評価対象項目 □ □ 所述 である	。 部の仕上げが良い。 すりつけなどが良い。 観が良い。	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	やや優れている れた勾配が確保された 近の施工にあたって、 近の変化部につい損信物等との取り合い。 (理由: 近日以上・・・・ 近日・・・・・ 近日・・・・・ 近日・・・・・ 近日・・・・・	ている。 . 法面のの : 注 . まが発生しま . まが発生し書 . * : : : : : : : : : : : : : : : : : :	石などが除 けるなど適 いよう処理	切に施工され されている。	にている。	-	3.	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	細別	工種		a		b		С		d	□ e	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	護岸・根固 め・水制工事	十十十重協	試験結果のばらつきと評価対象項 工管理基準、その他設計図書に定と		評価値)から判断する。<判断書	上 進参照>[関連基準、	文書で打	指示を行った	補修指示を行	うった こうこう
			品 上 品 上 旋 裹 得 護 遮 植 根 指 基 1 旅 埋 有 そ 記 判 9 17 15 16 16 17 18 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	対象項目 質関係の測定方法又は測定値が不対	 ・ 適 ・ 適 ・ も ・ あ ・ も ・ も ・ で ・ も ・ も ・ で ・ も ・ さ ・ も ・ さ ・ さ ・ も ・ さ ・ き ・ さ ・ す ・ さ ・ さ ・ さ ・ さ ・ さ ・ す ・ す	め、監督員が文書で指示を行いる。 生じないよう十分行っている。 ける材料のかみ合わせ又は連結だの仕様を満足している。 強度及び水密性を確保している。 が設計図書の仕様を満足している。 が設計図書の仕様を満足している。 の連結及びかみ合わせが設計図書 除して施工している。 。	牧善された。 が、裏込材の る。 書の仕様を満 ② 当 背	としている。 当該「評価対 が開発の値で評価のあ にでいる。	象項目」の る場合は削 配する。 = () 評(うち、評価対象外 余後の評価項目券 西数/評価対象項	の項目は削除する。 を母数として、比率 目数 () 場合はc評価とする	
	Ⅲ. 出来ばえ	護岸・根固め・水制工事	● 評□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	りが良い。 料のかみ合わせがよく、クラック 端及び端部の仕上げが良い。 設構造物とのすりつけが良い。 体的な美観が良い。 の他(理由:		やや優れている)	□他のしな	評価に該当い	■劣つ	ている		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目	Ť	钿 別	工種		a		Ъ		С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	П.	品質		品質関係の	試験結果のばらつきと評価対象項目 工管理基準、その他設計図書に定め		値)から判断する。<判断:	基準参照>[関連基準、	文書で扌	指示を行った	補修指	旨示を行った
				品 上 品 上 歩郷溶溶溶孔欠塗素塗塗そ関ボボ高高支架架現現そ 記判	ボルトの締付確認が実施され、記録? ボルトの締付機及び測定機器のキャ! 5.カボルトの締め付けを、中中調 5.カボルトとの品質のリートを記り 5.本の据付で、コンクリートを 5.本の据かで、コンクリートを 5.社のに力と変形等。 2.設に用いる仮設備及び仮設用機材は 2.設に用いる仮設備及び腹厚管理を 2.提験塗装において、温度、湿度、風速 5.の他(理由: を当項目を評価した後、ばらつきの 断基準	・ 適 ・ 又認区で取 乾後確表 をリ外確ッをに適速 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	監督員が文書で指示を行い している。 :様を満足している。 きめ細かに製作している。 いが理立まを実施しているが確認でト番号、色彩、数) 施している。 でいる。 でに水切勾配が付いている。 にが確保できる規模及び強いる。 いう。 にが確保できる規模及び強いる。 で評価してください。	。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・る。 当該「評価対	る場合は削除	うち、評価対象外 余後の評価項目数		
				価 60	5%以上90%未満 ##	b b c c c	b c c	3	評価値 (%)	= () 評価	西数/評価対象項目 頁目数が2以下の:		iとする。

Ⅲ. 出来ばえ	鋼橋工事(R C床版工事は コンクリート 構造物に準ず る)		優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当	当 ■ 劣っている	
		□ □ 部村 □ □ 溶技 □ □ 金装 □ □ 全体	象項目 面に補修箇所がない。 才表面に傷及び錆がない。 後に均一性がある。 もに均一性がある。 な的な美観が良い。 つ他(理由:)			
		該当3 該当2	準 項目以上・・・・・・・・ 項目・・・・・・・・・・ 項目・・・・・・・・・・・ 項目以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b c				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考查項目		細 別		工種		a		b		С		d		e
3.出来形及び 出来ばえ	П.	品質	4	砂防構造物工 事・治山構造 物工事及び地 滑り防止工事 (抑止杭・集 水井工事を含 む)	土木工事施	の試験結果のばらつきと評価対象項目 画工管理基準、その他設計図書に定め		から判断する。<判断基	準参照>	[関連基準、	文書で	指示を行った	補修	5指示を行った
					Ē	価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不道		査員が補修指示を行った。						
						上記該当項目があれば・・・・・・ 品質関係の測定方法又は測定値が不証。	-	樫昌が文書で指示を行い 代	・恙された					
						上記該当項目があれば・・・・・・			. F C 107C	-0				
						_	りを行っており、コン: 験を実施しており、温 ト供試体が、当該現場 間、打設時の投入高さか かいる。 確認できる。	度、スランプ、空気量等のの供試体であることが確認及び締固め方法が、定めら	測定結果できる。 れた条件	が確認できる。		単位水量、アルカ	リ骨材反応お	和制等)が確認で
						アンカーの施工が、設計図書の仕様を ドルトの締付確認が実施され、記録を ドルトの締付機及び測定機器のキャリ その他(理由:	を保管している。	している。)						
						り対策工事(抑止杭・集水井工事をアンカーの施工が、設計図書の仕様をライナープレートの組み立てにあたりライナープレートと地山との隙間がタ ま・排水ボーリング工の方向及び角度との他(理由:	を満足している。 り、偏芯と歪みに配慮 少なくなるように施工	している。	0					
					●判 評 9 価 6	該当項目を評価した後、ばらつきの当 断基準 ばら~ #DIV/0! % 50%以下 0%以上 ## □ a 5%以上90%未満 ## □ b 0%以上75%未満 ## □ b 0%未満 ## □ b	判断を加えて下表で評 つきで判断可能	げらつきで判断不可能	3	削除項目のあ 計算の値で評価評価値(%)	る場合は削 mする。 = () 評(うち、評価対象外 余後の評価項目数 価数/評価対象項目 項目数が2以下の:	を母数とし 目数 ()	て、比率 (%)

Ⅲ. 出来ばえ	砂防構造物工 事・治山構造 物工事及び地 滑り防止工事		優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当	■ 劣っている		
		□ コン □ 天端 □ クラ □ 漏水: □ 全体	<mark>項目</mark> クリート構造物の表面状態が良い クリート構造物の通りが良い。 仕上げ、端部仕上げ等が良い。 ックがない。	`o	【地滑り防止】 ○ 地山との取り合い □ 天端、端部の仕. □ 施工管理記録ない □ 全体的な美観が □ その他(理由:				
		該当4項 該当3項	恒 同目以上・・・・・・a 同目・・・・・・・ b 同目・・・・・・・ c 同以下・・・・・・ d		● 判断基準 該当3項目以上・・ 該当2項目・・・・ 該当1項目・・・・ 該当項目なし・・・	· · · · · · b			

別紙-3				工事成績採	点の考査の	頁目の考	查項目	別運	用表			(検査員)
考查項目	細別	工種		a		b		С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	舗装工事		の試験結果のばらつきと評価が 施工管理基準、その他設計図		直)から判断する。<	判断基準参照>	[関連基準、	文書で	指示を行った	補修指示	を行った
			- BRONDON 70000000 コロロロロロロ ※上記	平価対象に では ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	監督 る。 で びしる と で が す き で が す き で が す き で が す き な で が す ま に タ を か め い で ま で か は 除 ト の と で が し る か ず ま 上 で か は ト し テ か よ ま で か は か よ な ま し か し か な ま で か は な か で か は な か で か と で か で か と で か で か で か と で か で か	でいいで、	。。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	化物総量、1	うち、評価対象外	の項目は削除する	వ.
				90%以上 ## □ :	SU下 80%を超え a	b b	(2	計算の値で評価	面する。	除後の評価項目数 価数/評価対象項目		比 举 (%)

④ なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。

Ⅲ. 出来ばえ	舗装工事	□ 優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当□ しない	■ 劣っている	
		● 評価対象項目 □ 舗装の平坦性が良い。 □ 舗装の平坦性が良い。 □ 構造物の通りが良い。 □ 構造物のですりつけ等が良い。 □ 本体的な美観が良い。 □ その他(理由: ● 判断基準 該当5項目以上・・・・・・ 該当4項目・・・・・・・ 該当2項目以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• • • • a • • • • b • • • • c)			

工事成績採点の考査項目の考査項目別週

軍	用:	表					(検査	〔員〕
			d				е	
隼、	文	書で指	示を行	った		補修指示	そを行って	た
	l							
痩・√	W/C,	最大價	材粒径	、塩化物	勿総量、	単位水量	し、アル	カリ
去等、	適切り	こ行っ	ている。	(寒中	及び暑	中コンク	リート等	≨を含
価対	象項目	」のう	ち、評	価対象外	の項目	は削除す	-る。	
のあ	る場合	は削除	後の評	価項目数	で母数	なとして、	比率(9	%)

考查項目	細 別	工種		a		b	□ c	□ d	□ e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	下水道工事		果のばらつきと評価対象項 基準、その他設計図書に定)から判断する。<判断基	· 準参照>[関連基準、	文書で指示を行った	補修指示を行った
			●「評価対象項 品質関係の		下適切であったため、検	査員が補修指示を行った。			
			□ 上記該当1	項目があれば・・・・・	• • • • e				
						督員が文書で指示を行い改	きされた。		
			□上記該当」	項目があれば・・・・・	• • • • d				
			管集の規書は 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	抑制等)が確認でさる。 一ト打設時の必要な供試作 一ト供試体が当該現場の付 及び気象条件に適した運搬 二次製品)において接合き 工において、舗装材料の品 等の処理が法令を順守し道	電記できる。 記合試験及び試験練りが 本を採取し、強度・スラ 共試体であることが確入 映時間、打設時の投入 郡の取り合わせがよい。 品質管理が適切にされて	ンプ・空気量等が確認でき できる。 さ、締固時のバイブレータ	る。		物総量、単位水量、アルカリ P及び暑中コンクリート等を含
			世界の接行を表現を表現を表現を表現を表現と	適切な条件で施工しており合状況が良好である。 工の施工管理状況がデータ 交通開放が、定められたタ 理由:	タで確認できる。	じていない。			
			常に切羽が上に切羽が上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に上に	観測結果を毎日整理し、そ 及び表面の状態を観測して 等がデータで確認できる。 工の施工管理状況がデータ 理由:	で施工されている。	われている。)			
				トの規格・品質がミルシーにあたり、作業員の技量のクリート打設制能を観測して 及び表面の状態を観測して 接近作業等がデータで確認でき 大状況がデータで確認でき 工の施工管理状況がデータ 理由:	罹認を行っている。 勿除去のための充分な水 て施工されている。 忍できる。 きる.	洗洗浄を行っている。)			
			【処理場・ポン □ = 主たるエ ³ □ = その他(1	プ場棟のうち土木工事】 事(概ね2/3以上を占め 理由:	る工事)を対応する工程	重で評価する。)			
			●判断基準 190%以上 175%以上9 160%以上7	#DIV/0! % 50%以下 ## a 0%未満 ## b 5%未満 ## b	つつきで判断可能 80%以下 80%を超える D D D D D D D D D D D D D D D D D D D	ばらつきで判断不可能	② 削除項目のあ 計算の値で評(③ 評価値(%)	象項目」のうち、評価対象の あ場合は削除後の評価項目 価する。 = () 評価数/評価対象項 の評価対象項目数が2以下の	数を母数として、比率(%) [目数 ()
		I	[60%未満]	## ь		с	1		

	Ⅲ. 出来ばえ	下水道工事		優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当 □ しない	■ 劣っている	
			管渠の通り現 人インジに(クラー) 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	B場打ち)の肌がよい。 の仕上げが平滑で通りが。 D)の平坦性がよく、人孔記 フラ等がない。	: V).	よい。)			
			該当4項目· 該当3項目·	上・・・・・・・ a ・・・・・・・ b ・・・・・・・・・・・・・ c 下・・・・・・・・・ d					

NUM O							ク 与 且		コーマノー	5 且 1	タ ロ ル	門)	刀			(快旦貝)
考查項目	細別	工種			a				b			c		d		e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	法面工事)試験結果のば 二管理基準、そ			の履行状況(言 れた試験]	評価値)か	ら判断する。	<判断基準	参照>[関連	基準、土	文書で	指示を行った	補修	指示を行った
				価対象項目」 品質関係の測定	三方法又は測	則定値が不適	i切であったた≀	め、検査員	が補修指示る	を行った。			-			
				上記該当項目が	ぶあれば・・		•••е									
			à	品質関係の測定	三方法又は測	則定値が不適	切であったた	め、監督員	が文書で指え	示を行い改善	きされた。					
				上記該当項目か	ぶあれば・・		• • • d									
				施工基面を平滑 施工に際して、 盛土の施工にあ	品質の害と ちたり、法面 なが起こらな	となる施工面 面の崩壊が起	特に法枠工、: の浮き石やゴ こらないようが 排水対策を実施	ミ等を除去 締固めを十	してから施る	エしている。] 係)					
				次付工、次付工、 大け 大け 大け 大け 大大な 大大は 大大は 大大は 大大は 大大は 大大は 大大は	を施工に反 を界には間 を 関 を 関 等で は で る の 種 類 た 条 類 に る る の る る の る の る る ら る ら る ら る ら る ら る		設計図書の仕	様を満足し)	ている。							
				金網の重ね幅か 金網が損傷を生 及水性の吹付け 欠付け厚さに応 欠付強強度試験に 下良個所が生じ)種類10には は10には は10にでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	質及び配合が n以上確保 い。 て、事前に吸 以上に分割し リコンクリート 北ね返り材料	設計図書の仕れている。 水させてからが で施工していての供試体が、この の処理を行って 巻き込んで施工	施工してい る。 当該現場の ている。	る。 供試体である	ることが確認	?できる。					
				アンカーを設計 見場養生が、記 角度試験に使用 卆内に空隙がな 暑間にはく離か	種類、品質計図書と書き計図書とはいい。はいいい。はないようり	質及び配合が)の長さで施 土様を満足す フリート供試	、設計図書の位	されている の供試体で	0	確認できる。						
				プネット工関係アンカーの施工 アンカーの施工 コープ間の結束 浮き石の処理か コープネット村 その他(理由:	二長さが確認 でが確実にさいなされてい がなされてい が料の保管が	されている。 いる。	٥)								
			●判 評 7 6	該当項目を評価 断基準 #DIV/ 0%以上 5%以上90%未 0%以上75%未 0%未満	/0! % :: : : : : : : : : : : : : : : : : :		断を加えて下。 Dきで判断可能 80%以下 80% 80% 10		ばらつきで	判断不可能 b b c	② 削 計算 ③ 評f	除項目のあ Ⅰの値で評値 価値(%)	る場合は削隊 西する。 = () 評価	うち、評価対象外 余後の評価項目数: 価数/評価対象項目 頁目数が2以下の!	を母数として 数 ()	(%)

	Ⅲ. 出来ばえ	法面工事		憂れている	やや優れている	□ 他の評価に該当 しない	■ 劣っている	
			□端部処理が良 □全体的な美観 □その他(理由 ・判断基準 該当3項目以上 該当2項目・・ 該当1項目・・	が良い。)			

別紙-3			工事	成績採	点の考査	項目の考	查項目	別 運	用表			(検査員)
考查項目	細 別	工種		a		b		С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質		土木工事施工管理基	準、その他設計図	対象項目の履行状況(評価 書に定められた試験]	値)から判断する。<	判断基準参照>	[関連基準、	文書で	指示を行った	補修指示	そを行った
			□ 上記該当項 品質関係の □ 上記該当項 品質関係の □ 上記該 コ環関係の □ 大統関統に関係に関係の □ 一 大水 製頭 更要が 水 次 持 地 数 で お か と か と か と か と か と か と か と か と か と か	測定方法とは測定方法とはは、 関定方法とはは、 関定方法とはは、 関定方法とはは、 関定方法とはは、 関定方法とはは、 関心の方法とは、 関がのが、 関がのが、 関がのが、 関いに 関いに 関いに 関いと にでして とこと とこと とこと とこと とこと とこと にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にできる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に。 に	値が不適切であったため、 ・・・・・d 管井筒、場所杭、深礎等) び場所打杭の施工管理の方	監督員が文書で指示を	行い改善された。					
			□□ 掘削深戻、ペプスート	排出十一人の大人の水の水が配外が配子が上一人の田組ががかりでは、 一人の田地ががかりでは、 一人のセメントででは、 一人のセメントででは、 一人のセメントででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	官をコンクリートでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	へる場合の孔内の安定液 図書の仕様を満足して 2慮して施工している。 つる事項の管理資料を整) 、満足している。 は資料を整理している。 設設定等を行っている。	濃度並びに比重等いる。 理している。	等が、設計図書	書を満足して	いる。		
			●判断基準 期 評 90%以上 75%以上90%	DIV/0! % 50% ## □ %未満 ## □ %未満 ## □	のつきの判断を加えて下表で ばらつきで判断可能 ら以下 80%を超 a □ b □ b b □ b □ c b □ c □ c	げたへきで判断	文 (2) (3)	削除項目のあ 計算の値で評価 評価値(%)	oる場合は削 価する。 = () 評	うち、評価対象外 除後の評価項目数 価数/評価対象項目 項目数が2以下の	を母数として、. 目数 ()	比率 (%)

Ⅲ. 出来ばえ	基礎工(地盤 改良等を含 む)		優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当	■ 劣っている	
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	関係の仕上げが良い。 が良い。 及び天端の仕上げが良い。 管理記録などから不可視部分の出 也(理由: 玫良はc評価とする。	来ばえの良さが	·伺える。)			

7,1/124 0	1	1		事 戏 順 沐 ぷ			万		かり (生			_	(灰五页)
考查項目	細 別	工種		a		b			С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	コンクリート 橋上部工事 (PC及びR Cを対象)	十十十重据工程	競結果のばらつきと評価対象 許理基準、その他設計図書に		(評価値) から判断す	る。<判断基	基準参照>[関連基準、	文書で持	指示を行った	補修	指示を行った
			●「評価対象 品質問	象項目」 関係の測定方法又は測定値が	不適切であっただ	こめ、検査員が補修指	示を行った。						
			□上記記	亥当項目があれば・・・・・	•••• е								
			品質問	関係の測定方法又は測定値が	不適切であっただ	ため、監督員が文書で	指示を行い改	女善された。					
			□上記記	亥当項目があれば・・・・・	d								
			□□□□ングできる	フリートの配合試験及び試験	練りを行っており	り、コンクリートの品	質(強度・V	W/C、最大作	骨材粒径、塩	化物総量、単	単位水量、アルス	カリ骨材反応	抑制等)が確認
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	2 リート受け用にいて、 を	一時では、 一時では、	当該現場のではで法で 場のでは と入事では を入事では を入事では を入事では をは をは をは をは をは をは をは をは をは を	あが、支 るよう こことめの して とめのの 世理 して こことのの して で 田 して い用いい のここと ここと ここと ここと ここと ここと ここと ここと ここと ここ	を記で条件を行っている。 にいる。	足している。 ている。	(寒中及び	・暑中コンクリー うち、評価対象外		2 △ → 2
				#DIV/0! % 50%以下 以上 ## □ a 以上90%未満 ## □ b 以上75%未満 ## □ b		6を超える はらつきで b	で判断不可能 b b c c	② 肖 計 ③ 評	除項目のあ 算の値で評値 ア価値(%)	る場合は削隊 mする。 = () 評価	未後の評価項目数 面数/評価対象項 頁目数が2以下の	女を母数とし [*] 目数 ()	て、比率(%)
		コンクリート			<u> </u>	4 4 5 7		他の	評価に該当	I		1	
	Ⅲ. 出来ばえ	橋上部工事		優れている		やや優れている)	ししな	評価に該当	■ 劣って	こいる		
			コングステステン学の大学を表示しています。	項目 フリート構造物の表面状態が フリート構造物の通りが良い ひリート構造性の通りが良い。 ひの仕上げが良い。 おの仕上げが良い。 なりがない。 りな美観が良い。 也(理由:)							
			該当4項 該当3項	目以上・・・・・・・ 目・・・・・・・・・ 目・・・・・・・・・	• b • c								

考查項目

3.出来形及び 出来ばえ **Ⅱ**. 品質

		工事成績採点の	の老木は	ョ 日 の 老 木	位 日 川 津	田主	(檢査員)
細別	工種		<u>ク 有 宜 ち</u> _□	<u>P 日 の 与 宜</u> b		<u>用 </u>	(便且貝)
Ⅱ. 品質	塗装工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定め		1)から判断する。<判断基	· 準参照 > [関連基準、	文書で指示を行った	補修指示を行った
		●「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不過		全査員が補修指示を行った。			
		□ 上記該当項目があれば・・・・・・・	•••е				
		品質関係の測定方法又は測定値が不通	適切であったため、鹽	佐督員が文書で指示を行い改	で善された。		
		□ 上記該当項目があれば・・・・・・・	· · · d				
		□□塗装作業にあたり、塗布面を十分に車□□ケレンを入念に実施している。□□天候状況の確認、気温及び湿度の測片□□塗料を使用前に撹拌し、容器の塗料を使用前に撹拌し、容器の塗料を使用前に撹拌し、容器の変料を直回□塗料の空后管理について写真等で多数をできません。 しつ等がなく塗り回□塗り残し、ながら、しつ等がなく塗り□□塗料の品質が出荷証明、塗料成績表に□□その他(理由:	きを行い、塗装作業を と均一な状態にしてか を を に空である。 を とれている。 し を を を を を を を を を を を を と が る と と が る と と が る と と さ と さ と さ と さ と さ と さ と と と ら ら ら ら	と行っている。 いら使用している。 っている。 権認できる。 必要な塗膜厚を確保してい			
		※上記該当項目を評価した後、ばらつきの当 ●判断基準 #DIV/0! % 50%以下 評 90%以上 ## a 75%以上90%未満 ## b 60%以上75%未満 ## b 60%水上流 ## b	判断を加えて下表で記 きで判断可能 30%以下 80%を超え b b b c c c c	げらつきで判断不可能	② 削除項目のあ 計算の値で評価 ③ 評価値(%)	象項目」のうち、評価対象外 る場合は削除後の評価項目数 iする。 = () 評価数/評価対象項目 の評価対象項目数が2以下の	を母数として、比率(%) 目数()
Ⅲ. 出来ばえ	塗装工事(工 場塗装を除 く)	□ 優れている		やや優れている	□ 他の評価に該当 しない	■ 劣っている	
		 評価対象項目 □ 塗装の均一性が良い。 □ 細部まできめ細かな施工がされている □ 補修箇所がない。 □ ケレンの施工状況が良好である。 □ 全体的な美観が良い。 □ その他(理由: 判断基準 該当 4 項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	j.)			

/ +\>	*	二	١
いか	牢	=	-)

-tu -tu -77	/							, 11.	<u> </u>	/ 3 3 / / .			T _
考查項目	細別	工種		a			b			С		d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	トンネル工事		系の試験結果のばらつきと評価対象項目 F施工管理基準、その他設計図書に定め			から判断する	6。<判断基	準参照>[関連基準、	文書	ずで指示を行った	補修指示を行った
			● 「#	評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不適	切であった	ため、検査	員が補修指え	示を行った。			l		
				上記該当項目があれば・・・・・・	• • • e								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適	i切であった	ため、監督	員が文書で打	旨示を行い改	善された。				
				上記該当項目があれば・・・・・・・	• • • d								
				コンクリートの配合試験及び試験練り	を行ってお	り、コンク	リートの品質	質(強度・W	/C、最大1	骨材粒径、塩	化物総量	は、単位水量、アル	カリ骨材反応抑制等)が確認
				できる。コンクリート受け入れ時に必要な試験トロンクリート受け入れ時に必要な試験に使用したコンクリート施工条件や気象条件に適した運搬時がでけコンクリートの配合及びロッタ保工を計測管理を15cm以上を加いた場合との地でロックリートを打継する場合にいている。10分割を10分割を10分割を10分割を10分割を10分割を10分割を10分割を	の、ルパのにせ浮吹、ト 川断をでいいれば、 と は ない に せ 浮吹、ト と で で かんり と が のり き で で が のり き で で で で で で で で で で で で で で で で で で	、投、む足施ていをルコ 当入規)し工いた清等ク 該高格のてをる後掃等ク で 表 で で で で で で で で で の で の に の に の の の の の の の の の の の の の	の供試体では、 のび総目を関する。 のでは、 ので	ある。 大き こ定を満行 とがら足っ 一点でや一 がら足っ 一点でや一 の工 に を のの工 に を のの工 に を のの工 に を のの工 に を のの工 に を のの工 に を のの工 に のの工 に のので のので のので のので のので のので のので	認たてい のいッ施 「② 「② 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」 「)」	足している。 5 c m以下 護対策を行っ ない。 皆該「評価対	(寒中)で地山とこのででいる。 象項目 引合は	密着するよう施工し 。 のうち、評価対象:	
			評価	75%以上90%未満 ## b b 60%以上75%未満 ## b	b	b c		b c	3 7	平価値 (%)	= ()	評価数/評価対象項	[目数 () の場合は c 評価とする。
			値	60%未満 # □ b	С	С		С		,	(Jun / 1-		
	Ⅲ. 出来ばえ	トンネル工事		優れている		p.q.	や優れている		□ 他の しな	評価に該当い	■劣	_{うっている}	
				価対象項目 コンクリート構造物の表面状態が良い コンクリート構造物の通りが良い。 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 クラックがない。 漏水がない。 全体的な美観が良い その他(理由:)							
			該該該	断基準 当5項目以上・・・・・a 当4項目・・・・・b 当3項目・・・・・・c 当2項目以下・・・・・d									

別紙-3			_	工事成績	責採 点	の考	查項	目の	考	査 項	目	別運	用	表			(検査員)
考查項目	細 別	工種		a				b				С					е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	植栽工事		試験結果のばらつ。 江管理基準、その(から判断す	る。 < 半	削断基準参	除>	[関連基準、	文	て書で指示を行っ	った	補修指力	示を行った
			- F	ਜ਼対象項目」 品質関係の測定方法: ☆記該当項目があれ			たため、検査	荃員が補修指	示を行っ	った。							
				よ 質関係の測定方法	又は測定値が不	適切であった	たため、監督		指示を行	うい改善さ	された。						
				:記該当項目があれ	ば・・・・・	• • • • d											
				新などに損傷、は 対水等の生育に無傷、は 対水等の生育に無利枝 型料が直で接樹木をでき である。 である。 である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 は である。 でき でき でき でき でき でき でき でき でき でき でき でき でき	ちくずれ等ない ある害虫をがいる の選定ないそう に触れな置して	ない。 の他必要なも 均一に施肥し いる。	手入れを行っ										
			● 判 90 75 75 75 75 75 75 75 7	亥当項目を評価した 断基準 #DIV/0! % 0%以上 ## 5%以上90%未満 ##	ばら 50%以下 □ a □ b	つきで判断。 80%以下 8 □ b □	可能 0%を超える b b	げらつき	で判断不 b b	可能	② ③	削除項目のあ +算の値で評値 評価値(%)	る場合 価する。 = () 評価数/評価:	5項目数を 対象項目数 対象項目数	母数として、 数()	比率 (%)
			和百	0%以上75%未満 ## 0%未満 ##		b	c c		С		(4)	なお、削除後	の評価	耐勢項目数が 2	2以下の場	合は c 評価 a	<u>とする。</u>
	Ⅲ. 出来ばえ	植栽工事		優れてい	ర		p.	や優れている	5		ロ 他の した	○評価に該当 ない		劣っている			
			世 支 日 全	対象項目 対本の活着状況が良 対性の取り付けがき 対しの取り付けが堅 と体的な美観が良い この他(理由:	め細かく施工さ 固である。	れている。)										
			該当 該当	基準 3項目以上・・・・ 2項目・・・・・ 1項目・・・・・ 項目なし・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	b c											

運	用 表		(検査員)
	□ d		е
基準 、	文書で指示を行った	補修指示	を行った
度以上 7	である。		
〔目のあ 直で評値 〔(%)	象項目」のうち、評価対象: る場合は削除後の評価項目: mする。 = () 評価数/評価対象項 の評価対象項目数が2以下	数を母数として、5 [目数 ()	比率(%)
こ該当	■ 劣っている		
	【区画線】 ○ □ 塗料の塗布が均一で □ 視認性が良い。 □ 接着状態が良い。 □ 施工前の清掃が入念 □ 全体的な 美観が良い □ その他 (理由:		

考查項目	細 別	工種		a				b			С		d		е	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	防護柵 (網)・標 識・区画線等 設置工事	十十十重恢	対験結果のばらつ 江管理基準、その			(評価値) カ	いら判断する。	<判断基注	準参照>[関連基準、	文書で持	指示を行った	補	修指示を行	った
				西対象項目」 品質関係の測定方法	ミ又は測定値が不	ぶ適切であったた	こめ、検査員	員が補修指示る	を行った。							
				-記該当項目があれ	ıば ・・・・・	••••е										
			E	品質関係の測定方法	ミ又は測定値が不	ぶ 適切であったた	こめ、監督員	員が文書で指え	示を行い改	善された。						
				上記該当項目があれ	ば・・・・・	• • • • d										
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	おける は は は は は は は は は は は は は は は は は ま は ま	正上がり面になって、 が工のになって、 がにあたって、 がにあたって、 がにあたって、 でして、 を持た、 を表た を表た を表た を表た を表た を表た を表た を表た を表た を表た を表た を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、	で、無いでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ルコ学がリいい。 かコ学がしいに設ける。 を不上では、 を不上では、 をであるがし、 をであるが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	生じないます。 生じない現立している。 になり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	に施足してい 施足しる。 を設計の。 を設計の。 できる。でで表してい できる。でで表してい	いる。 る。 いで定められ いる。 限となって ② if	当該「評価対 割除項目のあ	象項目」の・ る場合は削削	うち、評価対象タ 余後の評価項目巻			(%)
			評 75 価 60	5%以上90%未満 # 0%以上75%未満 #		b b b c c	b c c	b b c c c		3 1		= () 評値	画数/評価対象項 頁目数が2以下ℓ			0
	Ⅲ. 出来ばえ	防護柵 (網)・標 識・区画線等 設置工事		優れてい	\ る		pp	優れている		□ 他のしな	評価に該当い	■ 劣っ [*]	ている			
			● 評価 □ 端部 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	冊(網)】 対象項目 対象項目 最初良い。 最初見れではしい。 形材表面に傷及及び 経験構造物等を施工さい を必め的な美観が と体的な美観が との他(理由:	りつけが良い。 れている。	□ 標識の □ 標識板 □ 支柱基	夏の支柱に変 基礎が入念に りな美観が良	こ角度及びそ <i>0</i> 変色がない。 こ埋め戻されて		りが良い。		□ 視認作 □ 接着 □ 施工 □ 全体的	表】 の塗布が均一でま 生が良い。 状態が良い。 前の清掃が入念に 的な美観が良い 也(理由:		.ている。	
			該当 該当	基準 5項目以上・・・ 4項目・・・・ 3項目・・・・ 2項目以下・・・	b	該当3項 該当2項	目・・・・	a				該当3項 該当2項	[目以上・・・ [目・・・・・ [目・・・・・ [目以下・・・・	b		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	工 種		a		b		С		d		е	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	機械設備工事		そのばらつきと評価対象項 に準、その他設計図書に定る		価値)から判断する。<判断	基準参照>	[関連基準、	文書で排	旨示を行った	補化	修指示を行った	=
			●「評価対象項 品質関係の		適切であったため	、検査員が補修指示を行った	0						
			□上記該当項	頁目があれば・・・・・	••••е								
			品質関係の)測定方法又は測定値が不	適切であったため	、監督員が文書で指示を行い	改善された。						
			□上記該当項	頁目があれば・・・・・・	· · · · d								
		#DIV/0!		基準に を を を が に な が に な が に な に な の に の に な を を を で で を を で で を で で を で で を で で を で で を で で を で で で で で で が が が が が が が が が が が が が	とをがててチ置の 点し度験なく又適なく不ります。 大きない でいき しょう いっぱい かい でいま 大野 とをがてて チのと 検いの かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	品質の確認ができる。 として提出している。 の確認ができる。 を整理し品質の確認ができるる。 を整理し品質の確認ができるる。 にを整理し品質の確認が、集類を いる。 について、、まとめている。 交換作業を容易にできるよう。 就験成表示している。	。 性にすぐれて 整理し品質の 工夫している	り確認ができる					
				を評価した後、ばらつきの	判断を加えて下表	長で評価してください。							
			●判断基準 ※評価値z	ぶ90%以上・・・・・・	• a					うち、評価対象を			
			※評価値6	0%以上90%未満・・・・	• b		計	+算の値で評価	iする。	余後の評価項目数 h数/評価対象項		ン(、凡学(%	,)
			※評価値6	0%未満・・・・・・・	• с					画数/計画/対象域 頁目数が2以下の		平価とする。	
	Ⅲ. 出来ばえ	機械設備工事		優れている		やや優れている	□ 他の □ しね)評価に該当 よい	■ 劣って	ている			
			□ され構造する また構造する また構造する では できる	関連設備及び操作制御設備 な施工がなされている 勿、既設設備等とのすりつ 支、組み立て等にあたって 長観が良い。	けが良い。、細部に渡る配慮	れており、運転操作性が良い がなされている。)	'o						
				······									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

考查項目	細別	工種		a		b	<u>,</u>		c		d		е	;
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	電気設備工事		の試験結果のばらつきと評価対象項目 施工管理基準、その他設計図書に定め		『価値)から判断する。	,<判断基準	準参照>[関連基準、	文書で	で指示を行った	補作	修指示を	行った
				平価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不適	切であったため	り、検査員が補修指示	を行った。					<u>.I</u>		
				上記該当項目があれば・・・・・・	•••е									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適	切であったため	り、監督員が文書で指	示を行い改詞	善された。						
				上記該当項目があれば・・・・・・・	• • • d									
		#DIV/0!	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	機器の品質、機能及び性能が設計図書を 操作スイッチや表示灯が承諾図書のと ケーブル及び配管の接続などの作業が 設備の機能及び性能が、設計図書のと 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の 設備の総合性能が、設計図書の一機 設備外性にが、設計図書の一機 設備全体になって機器(製品)の機 設備全体についての取扱説明書を要式 設備全体についての取扱説明書を 完成図書で定期的な点検や交換 完成の構造において、点検や 決手組 設備の構造において、点検 、交換頻度 その他(理由:	出質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足している。 図書を満足して、成績書にまとめられている。 でのとおり配置され、操作性に優れている。 での仕様を満足している。 計算の世様を満足している。 設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 世様を満足している。 設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 世様を満足している。 機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認している。 で表述をできるにおいて、工場試験などで確認している。 とまままままままままままままままままままままままままままままままままままま									
	Ⅲ. 出来ばえ	電気設備工事		優れている		やや優れている		□ 他の しな	評価に該当 い	■ 劣。	っている			
			●判該該該	価対象項目 きめ細かな施工がなされている。 公共物として、安全性の確保、環境及動作状態において、電気的及び機械的ケーブル等の接続方法及び収納状況が操作、保守点検等の容易さを確保する全体的な美観が良い。 その他(理由: 斯基準 当5項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	な異常がなく、 適切である。	総合的な機能及び運		,						

別紙-3			工事	事成績 採	点の考	査項目の	考 査	項目	別運	用表			(検査員)
考查項目	細 別	工 種		а		b			С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	電気通信工 事・受変電設 備工事	品質関係の試験結 土木工事施工管理	乗のばらつきと評価対 基準、その他設計図	対象項目の履行状況 小象項目の履行状況 小のでは、 本のでは、 本のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	. (評価値) から判断する	5。<判断基		関連基準、	文書で指示	示を行った	補修指症	示を行った
			●「評価対象 [」] 品質関係		値が不適切であった	ため、検査員が補修指	示を行った。	0				<u>I</u>	
			□ 上記該当	 項目があれば・・・	• • • • • • e								
			品質関係	※の測定方法又は測定(値が不適切であった	ため、監督員が文書で	旨示を行い	改善された。					
			□上記該当	4項目があれば・・・	d								
		#DIV/0!		情質照合の結果が、品別 最器の品質の機能及びいる をとしていて、設備ははいいで、 はにおいて、関係はおいで、 はにおいて、といて、 はないでの、 はないで、 はないでは、 はないでは、 はないでにあいて、 はないでは、 はないが、 は	形質状に対して、現物で計して、現物で計して、現物で計して、現物で計して、現物で計して、、	+図書と適合が確認できま合を含む)で確認でき、 会合を含む)で確認でき、 登認でき、設計図書の仕 で書に記載された手順に	設計図書の 様を満足して 合って行われ きる資料を基 整備している 式験記録にあ	の仕様を満足ている。れ、不具合が整備している。	している。 ない。 。				
			●判断基準										
				直が90%以上・・・・	• • • • a							の項目は削除で で母数として、	
			※評価値	直60%以上90%未満・	• • • • b			計:	算の値で評価				. 20 1 (707
			※評価値	160%未満・・・・・	• • • • c							場合はc評価。	とする。
	Ⅲ. 出来ばえ	電気通信工 事・受変電設 備工事		優れている		やや優れている		□他の	評価に該当い	■ 劣ってレ	いる		
			□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	関連設備等にきめ細深して、安全性の確保、 して、安全性の確保、 気において、電気的及び 請及び関連施設が全体的 会守点検等の容易さを確 会議が良い。	環境及び維持管理 び機械的な異常がた 的に協調及び統制さ 確保するための配慮 ・・ a ・・ b ・・ c	担等への配慮がなされてい よく、総合的な機能及び られ、総合的な性能向上・	重用性が良い		0				

(検査員)	

考查項目	細	別	工種		a		Ъ	□ c		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品分	質	二次製品 物・リート事 ルン次型 品壁 ルンク ルンク ルンロ ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト、 (ボバロ カンスト (ボバロ カンスト (ボール (ボール))) (ボール)	品質関係 <i>(</i>)	試験結果のばらつきと評価対象項目 工管理基準、その他設計図書に定め	の履行状況(評価 られた試験]	h値)から判断する。<判断基 [≥]	#参照>[関連基準、	文書で	で指示を行った	補修	指示を行った
					上様書の名の主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主要を主	 切・ 施るっが等計 か・ 切・ ・ が等計 か・ で・ ・ で	監督員が文書で指示を行い改善満足している。 れている。 はつている。 当切に施工・管理されている。 うック等の欠陥がない。 うっク等の欠陥がない。 うっとの確保のため細心の注意を打込み、 したなじみよく施工されている。 なに行われている。 いっちの不陥がない。 いる。 日部からの漏水も見られない。 日部からの漏水も見られない。 はが適切に施工されている。 にいる。) で評価してください。 はらつきで判断不可能 はらつきで判断不可能	払っている。 、締固め及び養生が適り ② 削除項値で評の ③ 評価値(%)	象項目」の あ場合は 話する。 = () 評	でいる。 うち、評価対象外 が後の評価項目数 で価数/評価対象項目 で項目数が2以下の言	を母数として 目数 ()	て、比率(%)

Ⅲ. 出来ばえ	二次製品構造 物・トニター リート工事(エックート工事、ボックート工事、ボッルンプー 推対ルンプーク 積等)		□ やや優れている	□ 他の評価に該当	■ 劣っている	
	194 (1)	【二次製品構造物】 ● 評価対象項目	【コンクリート二次 ○	良い 良い。 み合わせが良い。 邪仕上げ等が良い。		
		● 判断基準 該当6項目以上・・・・・a 該当4項目以上・・・・・b 該当3項目・・・・・・c 該当2項目以下・・・・・d	該当 6 項目以上·· 該当 4 項目以上·· 該当 3 項目···· 該当 2 項目以下··	· · · · · b		

別紙-3			工事成績採点	の考査項	目の考査	項目別運	用 表	(検査員)
考查項目	細 別	工 種	а		b	С	\Box d	е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	補強土壁工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定め)から判断する。<判断基	準参照>[関連基準、	文書で指示を行った	補修指示を行った
			●「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不通 □ 上記該当項目があれば・・・・・・	• • • • e				
			品質関係の測定方法又は測定値が不過 □ 上記該当項目があれば・・・・・・・		督員が文書で指示を行いぬ	「善された。		
			□□ 盛土材料の土質が適正である。 □□ 盛土の締固めを適切な条件(人力機制 □□ プレキャスト製品・材料等の品質がご □□ 現場条件に応じた排水対策が施工時ででは、企業の締固め管理(密度等)が適切にでは、ウェルポイント等の仮設が計 □□ その他(理由:□□ を回じが適正である。□□ を回じが過ごを通じが通じが高正である。□□ を回じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じが通じ	□場管理資料により的 を含め適切に講じられ こ実施されている。	確に確認できる。 ている。	されている。		
			#DIV/0! % 50%以下 190%以上 ##	判断を加えて下表で割ります。	げらつきで判断不可能	② 削除項目のあ 計算の値で評価 ③ 評価値(%)	象項目」のうち、評価対象外 る場合は削除後の評価項目数 所する。 = ()評価数/評価対象項目 の評価対象項目数が2以下の	を母数として、比率(%) 目数()
			[60%未満 ## □ b	□ c □ c	С			
	Ⅲ. 出来ばえ	補強土壁工事	□ 優れている	_ ×	や優れている	□ 他の評価に該当 □ しない	■ 劣っている	
			● 評価対象項目 □壁面材 (コンクリート製品) の割れ、 □基礎上面の平坦性が良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □壁面材の目違い、段差が少なく構造物 □全体的な美観が良い □その他(理由: ● 判断基準 該当4項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	物の通りが良い。)			

/ +\>	*	二	١
いか	牢	=	-)

考查項目	細別	工種		a a	<i>21</i> (71()	Ī		ь b		c		d		e
与 宜 垻 日	和为	上 性										α		е
3.出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	電線共同溝工事		験結果のばらつきと 管理基準、その他設			(評価値)から	判断する。<判	断基準参照	>[関連基準、	文書で	ぎ指示を行った	補修	修指示を行った
			●「評価対象 品質関	象項目」 関係の測定方法又は	測定値が不適	1切であったた	よめ、検査員か	・ 補修指示を行っ	た。				<u> </u>	
			□上記詢	該当項目があれば・		•••е								
			品質問	関係の測定方法又は	:測定値が不適	i切であったた	とめ、監督員か	(文書で指示を行	い改善され	た。				
			□上記記	該当項目があれば・		• • • d								
			□□□特殊部 □□□特殊部 □□□無報表記 □□□□無報表記	材料の規格が、この規格が、行の規格が、行の規格験を現の通い間の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の	おり、試験結 着時、対策接 力が接するる 書の出る 番の出る で で	活果から全箇所 等において、 なるようにのにからにからにからにからにいる。 でででといる。 ででででいる。 でいるが、 でいるではが、 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいる。 でいるではいるでは、これではいる。 でいるではいるではいるではいる。 でいるではいるではいるではいるではいる。 でいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるではいるで	fが導通していアスファルトンつ不陸がないはよる目違いによる目なく平坦性を確好の仕様を満足	、混合物の温度管 いように仕上げて 投差及び蛇行等が 健保している。	いる。					
				項目を評価した後、	ばらつきの半	判断を加えてヿ	下表で評価し	てください。						
				#DIV/0! %	ばらつ 50%以下 a b	きで判断可能 80%以下 80% D b D b D b D	を超える b b	ばらつきで判断不可 b b	1) [6]	② 削除項目のあ 計算の値で評③ 評価値(%)	oる場合は肖 価する。 = () 評)うち、評価対象外 別除後の評価項目数 呼価数/評価対象項 記項目数が2以下の	女を母数とし 目数 ()	たて、比率(%)
			他 60%ラ		b	С	С	С		0 3.4.5 (177)4.0	S - H Imix - 3 - 2			JM C / W 0
	Ⅲ. 出来ばえ	電線共同溝工事		優れている			やや優っ	hている		他の評価に該当 しない	■劣っ	っている		
			□ プレキャ □ 施工管 □ 全体的	や項目 及び車道の舗装(含 ストコンクリートブ・ロックの蓋 管理記録などから、 的な美観が良い 他(理由:	に、がたつき	や不要な隙間	が生じていた		性が確保さ	れている。				
			該当2項 該当1項	集 目以上・・・・ 頁目・・・・・・ 頁目・・・・・・ 1なし・・・・・	· · · b									

 J)紙-3
 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表
 (検査員)

 考査項目 細別 工種 □ a
 □ b
 □ c
 □ d
 □ e

	**	· ·		
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	【農政部】 区画整理(ほ 場整備)工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準、 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 文書で指示を行った	補修指示を行った
			●「評価対象項目」品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。	
			□ 上記該当項目があれば・・・・・・ e	
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	
			□ 上記該当項目があれば・・・・・・・ d	
			□ 表土扱い土が適切に管理されている。 □ 道路・水路・畦畔等の締め固めが適切に施工されている。 □ 構造物周辺の埋め戻し、締め固めが適切に施工されている。 □ 法面に有害なクラックや損傷部がない。 □ 財水路の深さ、勾配等が適切に施工されている。 □ 田面等に耕作に有害な石礫等がない。 □ 盛上高さが大きく、又は、水路埋立箇所など沈下が予想される箇所について特に入念に施工されている。 □ 素土扱い土の厚さが確保されている。 □ 歌砂利の厚さが確保されている。 □ コンクリート構造物に、きめ細かな施工がうかがえる。 □ 富土の締固め管理(密度等)が適切に実施されている。 □ こその他(理由:	
			※上記該当項目を評価した後、ばらつきの判断を加えて下表で評価してください。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 #DIV/0! % 50%以下 80%を超える はらつきで判断不可能 2 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 3 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 3 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 3 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 3 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 3 削除項目のある場合は削除後の評価する。 3 評価値 (%) = () 評価数/評価対象項目数 60%以上75%未満 ## □ b □ b □ c □ c □ c □ c □ なお、削除後の評価対象項目数が 2 以下の場合	母数として、比率(%) ()
	Ⅲ. 出来ばえ	【農政部】 区画整理(ほ 場整備)工事		
			 ● 評価対象項目 □ 土工の仕上げが良い。 □ 繰的構造物の通りが良い。 □ 附帯構造物等へのすりつけが良く、小構造物にきめ細やかな施工がなされている。 □ 道路、水路等の路面や法面の仕上げが良い。 □ 仕上げ整地が良い。 □ 全体的な美観が良い □ その他(理由: ● 判断基準 該当5項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

目 別 運	用表			(検査員)
С		d		е
照>[関連基準、	文書で	が指示を行った	補修	指示を行った
れた。				
措置されている。				
② 削除項目のあ 計算の値で評③ 評価値(%)	oる場合は削 価する。 = () 評)うち、評価対象外 除後の評価項目数 価数/評価対象項目 項目数が2以下の	を母数とし 目数 ()	て、比率(%)
] 他の評価に該当 しない	■ 劣つ	っている		

J H X H	//44 /3-3	1				2			
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	【農政部】暗渠排水工事	品質関係の試験結果のは 土木工事施工管理基準、) から判断する。<判断基	· 準参照 > [関連基準、	文書で指示を行った	補修指示を行った
			●「評価対象項目」 品質関係の測定	三方法又は測定値が不適	切であったため、検	査員が補修指示を行った。			
			□ 上記該当項目か	ぶあれば・・・・・・	• • • e				
			品質関係の測定	三方法又は測定値が不適	切であったため、監	督員が文書で指示を行い改	女善された。		
			□ 上記該当項目か	ぶあれば・・・・・・	• • • d				
			□□吸水渠、集水渠□□軟弱地盤等で暗□□被覆材が管路を□□推底部が凹凸虹	と中心に適切に施工され 它行の内容に施工されて <渠等の埋め戻しが入念	される恐れのある個 ている。 いる。	所について、阻害防止のエ)	こ夫が措置されている。		
				面した後、ばらつきの¥	川断を加えて下表で評	価してください。			
			●判断基準 #DIV/ 評 90%以上 75%以上90%末 60%以上75%末 60%末満	0! % 50%以下 ## a 満 ## b	きで判断可能 80%を超える □ b □ b □ b □ c □ c □ c	ばらつきで判断不可能	② 削除項目のあ 計算の値で評価 ③ 評価値(%)	象項目」のうち、評価対象外 る場合は削除後の評価項目数 面する。 = ()評価数/評価対象項 の評価対象項目数が2以下の	女を母数として、比率(%) 目数()
		I the relation 1					/4 o == (m) = =+ \//		
	Ⅲ. 出来ばえ	【農政部】 暗渠排水工事	□ 優オ	1ている	□ ₹	や優れている	□ 他の評価に該当 しない	■ 劣っている	
				gが良い。 各堤塘復旧の状態が良い 続にきめ細やかな施工が 、良い。)			
			該当3項目··· 該当2項目···	a 					

出来ばえ

考查項目

3. 出来形及び

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表 (検査員) 細 別 工 種 d е 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準、 【農政部】 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] 補修指示を行った Ⅱ. 品質 文書で指示を行った 管水路工事 ●「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が補修指示を行った。 □上記該当項目があれば・・・・・・・e 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 □ 上記該当項目があれば・・・・・・・d □ □ 管材料は日本水道協会検査証明書等、品質規格証明が整備されている。 □ □ 接合面が適切な処理を行っている。 □□接合器材の管理、取扱いを適切に行っている。 □□接合結果が記録され、確認できる。 □□排水路の深さ、勾配等が適切に管理されている。 □□ 管布設状況が記録され、整理されている。 □ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。 □ □ 施工条件に適した方法で作業が行われている。 □□管の下端、側部の締め固めが均等に実施されている。 □□附属構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 □ □ その他(理由: ※上記該当項目を評価した後、ばらつきの判断を加えて下表で評価してください。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ばらつきで判断不可能 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率 (%) #DIV/0! % 50%以下 80%を超える 計算の値で評価する。 75%以上90%未満 ## b ③ 評価値(%)=()評価数/評価対象項目数() b b 60%以上75%未満 ## □ ④ なお、削除後の評価対象項目数が2以下の場合はc評価とする。 b С С Ⅲ. 出来ばえ | 【辰咚叫』 管水路工事 □ 他の評価に該当 しない 優れている やや優れている ■ 劣っている ● 評価対象項目 □ 接合状態が良い。 □ 管内外面に補修痕等がない。 □ 小構造物にも細心の注意が払われている。 □管埋設位置が適当である。 □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 □ その他(理由: ● 判断基準 該当4項目以上・・・・・・a 該当 3 項目・・・・・・ b

該当 2 項目・・・・・・・・・ c 該当 1 項目以下・・・・・・・・ d

別紙-3				工事成績採点	この考る	査項目の考	查工	頁 目	別運	用表			(検査員)
考查項目	細別	工種		a		b			С		d		e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	【農政部】 フィルダム・ ため池工事		の試験結果のばらつきと評価対象 施工管理基準、その他設計図書に			<判断基準	進参照 >	[関連基準、	文書で	指示を行った	補修	指示を行った
			● 「 <u></u>	平価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が	ぶ不適切であった	ため、検査員が補修指示る	を行った。						
				上記該当項目があれば・・・・・	• • • • • е								
				品質関係の測定方法又は測定値が	が不適切であった:	ため、監督員が文書で指え	示を行い改割	らされた。					
				上記該当項目があれば・・・・・	· · · · · d								
				基礎処理施工要領書及び盛り立て施工基面及び法面が平滑に仕上け湧水が適切に処理されている。 鉄筋の組立、継手部、かぶりは工構造物と同様な養生条件におかれ 埋設計器が設置要領に従ってされ 刃金土や堤体の締め固めが適切に グラウト工が適切に実施されて、 その他所帯構造物は、設計図書に その他(理由:	ずられている。 うに排水対策を実に事とのでは、できれている。 こ事とははいないできれいいできない。 こ実施さされていいできない。 こまがいないできない。 ことが、工事	施している。 たとおり施工している。 て強度確認を行っている。 作動が確認で事る。 ことが、工事書類等により 書類等により) 確認できる						
				己該当項目を評価した後、ばらつる	きの判断を加えて	下表で評価してください。							
			評価値	判断基準 #DIV/0! % 50%以7 90%以上 ## a 75%以上90%未満 ## b 60%以上75%未満 ## b 60%未満 ## b	ばらつきで判断可能 下 80%以下 800 D b D D D D D D D D D D D D D D D D D D	能 ばらつきで判 b b b c c c c c c c	断不可能	3	削除項目のあ 計算の値で評値 評価値(%)	る場合は削 mする。 = () 評	うち、評価対象外 除後の評価項目数 価数/評価対象項 項目数が2以下の	で 日数 として 目数 ()	て、比率 (%)
	Ⅲ. 出来ばえ	【農政部】 フィルダム・ ため池工事		優れている		やや優れている		口 他	の評価に該当 ない	■ 劣っ	ている		
			● 判該該該	価対象項目 土工の仕上げが良い。 土工の価りが良い。 吹付け(植生、コンクリート等) コンクリート構造物の肌が良い。 スペークリート構造物の肌がが良い。 天端仕上げ、端部 仕上げ等が良い クラックがない。 漏水がない。 施設の通りが良い。(排水側溝、全体的な美観が良い。 その他(理由: 断基準 当8項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	`。 フェンス等) ・a ・b ・c	ある 。							

考查項目		細別	工種		a		•	b		С		d		e
3. 出来形及び出来ばえ	П.	品質	【農政部】 水路補修工 事・目地補修 工・断面修復 エ・表面被覆 エ・管更生工	木工事施工管理基準	隻、その他設計図書に	象項目の履行: 定められた試	状況(評価値)か 験]	ら判断する。<判断基準	■参照>[関連:	基準、土	文書で指え	示を行った	神	修指示を行った
				●「評価対象項 品質関係の		が不適切であ	ったため、検査員	が補修指示を行った。						
				□上記該当項	頁目があれば・・・・		e							
				品質関係の	の測定方法又は測定値	が不適切であ	ったため、監督員	が文書で指示を行い改善	喜された。					
				□上記該当項	頁目があれば・・・・		d							
				□ 構造物の名 □ □ 監督員の打 □ □ 気象よの洗済 □ □ 施工時の □ □ 規定の厚	が化状況をよく把握 指示事項に対工方法でが ま応じた地処理が立方法でが まで、で下地処理はが適切に はないでででは場条件ではでいるが はで施工が確保といるでは はで施工が確保といるれて	て、適切な対 地状況を勘案 工されている 行われている なされている 等) が適切に	策を施している。 し、施工方法や構 。 。	材料確認を適宜・的確に 造についての提案を行う		取り組んで	ะเงอ _ิ			
					見定の付着強度で当該 策が適切に施工されて		密着されている。							
				□ □ 各種耐用語		験他)にクリ	アしている。	。 、やむを得ず出来た弛み	みも適切な方法	により対処	:した。			
				●判断基準 評 90%以上 75%以上9	を評価した後、ばらつ #DIV/0! % 50%] ## a 0%未満 ## b 5%未満 ## b	ばらつきで半 以下 80%以下 D b	断可能 80%を超える b b c	てください。 ばらつきで判断不可能	② 削除 計算。 ③ 評価	徐項目のある の値で評価 晒値(%)=	る場合は削除後 する。 = () 評価数	、評価対象外 の評価項目数 (/評価対象項目 数が2以下の	を母数と 3数 ()	して、比率 (%)
	Ш.	出来ばえ	【農政部】 水路補修工 事・目地補修 エ・断面修復 エ・表面被覆 エ・管更生工		優れている		やや	優れている	□ 他の評しない	価に該当	■ 劣ってい	いる		
				□ 小構造物 □ 細部の仕_	ラック、気泡、コテ助 (分水工、分水桝)等 上げが良い。 あとのすりつけが良い 美観が良い。	にも注意が払	われている。							
				該当2項目・ 該当1項目・	生	b c								

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(検査員)

		•			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	_ /\	, , ,	<u> </u>	, , , _ ,	/ 14 /			
考查項目	細 別	工種		a		b			С		d		e
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	維掃エ・付除理工・付除理事に、一般を関係である。 (精度を) は、 (特別の)	土木工	系の試験結果のばらつきと評価対象項目 事施工管理基準、その他設計図書に定め		評価値)から判断する	5。<判断基準	準参照>[関]連基準、	文書で指	音示を行った	補修指示	を行った
			• 「	評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が不適	通切であったた	め、検査員が補修指	示を行った。					1	
] 上記該当項目があれば・・・・・・	•••е								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適	適切であったた	め、監督員が文書で	指示を行い改詞	善された。					
]上記該当項目があれば・・・・・・	· · · d								
] 使用する材料の品質・形状等が適切で] 構造物の劣化状況をよく把握して、現] 監督員の指示事項に対して、現地状況] 緊急作業において、迅速かつ適切に対] 施工後のメンテナンスに対する提言や] その他(理由:] その他(理由:] その他(理由:] その他(理由:] その他(理由:	箇切な対策を施 ₹を勘案し、施 †応している。	している。 江方法や構造につい (維持工事)	ての提案を行	うなど積極的	りに取り組ん	っ でいる 。			
				記該当項目を評価した後、ばらつきの* 判断基準 該当6項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	a b	ぶ表で評価してくださ	۱۱۰ _۰						
			注	記載の4項目を必須の評価対象項目と	こし、この他に	適宜項目を追加して	評価するもの。	とする。たた	ごし評価対象	は項目は最大	8項目とする。		
	Ⅲ. 出来ばえ	維持工・付除理事・以上 (清本) (清本) (清本) (清本) (清本) (清本) (清本) (清本)		優れている		やや優れている		□ 他の評 しない	平価に該当 \	■ 劣って	ご いる		
				F価対象項目 小構造物等にも注意が払われている。] きめ細かな施工がなされている。] 既設構造物とのすりつけが良い。] 全体的な美観が良い。] その他(理由:)								
				断基準 核当3項目以上・・・・・・ a 核当2項目・・・・・・ b 核当1項目・・・・・・ c な当項目なし・・・・・・ d									

日日全年 つ

工事化练校上の老木佰日の老木佰日叫催田士

別紙-3					二事	成績	採点	気の	考	査 項	目の)考	查马	頁目	別週	1 月	月君	長			(検	査員)
考查項目	細 別	工	種			a					b				С			d			е	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	取り壊	し工事	品質関係の 土木工事施)から判断	する。<	判断基準	#参照>	[関連基準	`	文書	書で指示を行	テった	補修	指示を行っ	た
					対象項目」 質関係の測		【は測定値か	ぶ不適切	「であった	ため、検	査員が補修	指示を行	うった。							•		
				口上	記該当項目	目があれば	ť · · · · ·		••е													
				品	質関係の測	則定方法又	(は測定値か	57不適切	「であった	ため、監	督員が文書	で指示を	行い改善	身された	-0							
				口上	記該当項目	目があれば	ť · · · · ·		• • d													
				施廃不そそそ	工計画書に 棄物の処理	こ定められ 里が適切で り写真記録 由: 由: 由:]に実施して ルた計画によ がある。 なが適正でも	より管理	!されてい	る。))))											
				●判 断 該 該	所基準 当 6 項目り 当 3 項目・	以上・・・	後、ばらつ? ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · a		下表で評	価してくた	<i>i</i> さい。										
				注記	載の4項目	目を必須の)評価対象項	頁目とし	、この他	に適宜項	目を追加し	て評価す	-るものと	こする。	ただし評価	対象項	頁目は	最大8項目	とする。			
	Ⅲ. 出来ばえ	取り壊	し工事		f	憂れている	ó			\$	oや優れてV	いる			の評価に該ない	当	■ 绪	号っている				
				□□□□ 判該該該	め存りりの は32 中のかでものがものできる。 は、できまれている。 は、できまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	関連施設と り整地等仕 象(リサイ 由:	れている。 : の調整がた : 上がりのり : クル材、	犬態が良 産業廃棄	好である		なく処理が	適切であ	っる。									

日日全年 つ

工事化练校上の老木佰日の老木佰日叫催田士

別紙-3			工	事 成 績 採	点の考る	重項目の考	查項目	1別運	用表			(検査員)
考查項目	細 別	工 種		a		b		с		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	仮設工工事	土木工事施工	管理基準、その他設計図		(評価値)から判断する。・	<判断基準参照)	>[関連基準、	文書で指	旨示を行った	補修排	指示を行った
			●「評価対 品質		定値が不適切であった力	ため、検査員が補修指示を	行った。					
			□上記	該当項目があれば・・	• • • • • • • e							
			品質	関係の測定方法又は測定	定値が不適切であったが	ため、監督員が文書で指示	を行い改善され	た。				
			□上記	該当項目があれば・・	• • • • • • d							
			□ □ 仮設 □ □ 版	材にそり、ゆがみ、傷に材の組立・設置が確実は環境・騒音・振動・地想記録等により設計条件にを考慮し、良好な床付に他(理由:他(理由:他(理由:	こなされ、かつ点検も? 盤変動等)に配慮したが こ適合した根入れ長でが	拖工方法で実施している。						
			●判断。 該当 該当		· · · · · a	下表で評価してください。						
	Ⅲ. 出来ばえ	仮設工工事		優れている		やや優れている		也の評価に該当	■ 劣って	ている	l	
			□ 〒 〒 〒 〒 第 第 年 の 一)))))))))))))	板・親杭の通りが良い。 板にがたつきがない。 板のかみ合わせ等不良記 的な美観が良い。 他(理由:	部分がない。) ・ a ・ b ・ c		I	<i>∪</i> (4 k ¹)	I			

(検	査	員)

			<u> </u>		<u>, , </u>	<u> </u>	т_	<u> Д</u>	// / L	/ 13 - 2-			
考查項目	細 別	工 種		a		b			с		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	柵工・筋工・ 伏工工事	品質関係の試験結果のに 土木工事施工管理基準、	ばらつきと評価対象項目 その他設計図書に定め		値)から判断する	。<判断基	準参照>[関連基準、	文書で指	旨示を行った	補修	指示を行った
			□ 上記該当項目が	定方法又は測定値が不適 があれば・・・・・ 定方法又は測定値が不適	•••е		_,,						
			□上記該当項目が	があれば・・・・・・	· · · d								
			対料の品質規類		いる。 と切付が行われてま は対策が実施されて もしている。 は知かい注意がうか されている。 施肥の施工にあた ・創意工夫がみられ	いる。 かがえる。 より、苗木の育成に しる。))	- 配慮した丁		-	3 .			
			●判断基準	が /0! % 50%以下 ##□ a 表満 ##□ b	きで判断可能 80% k	える ばらつきで	判断不可能 D D C C	② 肖 計 ③ 郭	川除項目のあ 算の値で評価 評価値(%)	る場合は削隊 面する。 = () 評価	うち、評価対象外 注後の評価項目数 面数/評価対象項 員目数が2以下の	を母数とし 目数 ()	て、比率(%)
	Ⅲ. 出来ばえ	柵工・筋工・ 伏工工事	□ 優/	れている		やや優れている		□他のしな	評価に該当 い	■ 劣って	こいる		
			□ 構造物へのすり □ 全体的な美観が □ その他(理由 ● 判断基準 該当3項目以上・ 該当2項項目・・・	かみ合わせがよい。 りつけがよい。 が良い	,								

川紙 — 3						工	事	成	績	採	点の	りき	查	項	目(の考	查	項目	1 另	「運	用表	ŧ				(検	査員)
考查項目	細 別		エ	種				a	ı						b					С			d			е	
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	土工造成		農地	品質関係 土木工事									評価値)	から判	折する。	<判断基	生準参照 >	> [関i	連基準、	文書	で指示	を行った		補修指	示を行っ	った
						品 日 記 質 記 質 記 関 記 質 記 質 記 関 設 本土 成路 壌 畔 の の に 記 判 断 き と を 該 断 き 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	該関 該・道等の、の改、他他 項書 以上 当 係 当 除路には整造良溝((目準 上 上 2005) 上 2005	測 目 測 目 作仮る取等に使等由由 評 で が 業設崩りはあ用は・・・ 価 / 0! 未満方 あ 方 あ に排落に設たす設 し ! 未満 10 10 10 10 10 10 10 1	れ 法 れ よ水、あ計りる計 た <u>% ###</u>	は 測定 ・ た設立 ・ た設立 ・ た設立 ・ た設立 ・ に に に に に に に に に に に に に	・ が・ 伐計等等・ 大書防混工質づ工・ 本書防混工質づ工・ 本書・ 本書	・ 切 ・ 、に止入さ等くさ ・ 断 ・ 株りるなてつ証て ・ か で *********************************	e っ d 、施たいおい票お え 新で 能 80% 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	め、監督等ががある。 等管排水意子が書い、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る す す が が が が が が が が が が が を が を が を に で が を に で が と に で が と に が さ が し に が し に が し に が し に が し に に し に し に し に し に に し に に に に に に に に に に に に に	書で指示で指示では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	る。 記来。 基値を が 基値を おり、	女善されがついても記り、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	 歯 数 切 に	防止等に いては基 いてはれ ででで が が が が が で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の	準値を満りる。 - 象項目 - あるする。 - = ()	意を払っている。	って施工さいる。 いる。 ・、評価価対す ・の評価項目 でア評価対象:	e外の項目 数を母数 項目数(日は削除 女として)	、比率	(%)
		+-	「車」	/ 典. Hri	値	60%	未満		## 🔲	b b		b c		c c		c c					1		数が2以下	の場合は	<u>: c 評価</u>	とする。	
	Ⅲ. 出来ばえ	造造的	(大学) (大学)	. 辰地	● 評□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	整畦構植排全そ 断当当当3 4 5 3 9 3 9 3 9 3 9 3 9 3 9 3 9 3 9 3 9 3	東の、、物、路的他 単頁頁頁写勾均溝へ吹のな(目目目目配平畔のき通美理 以・・	の等す付り観由 ヒ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	:され、 げがよ :上げがよ :上がが : : : : : : : : : : : : : : : : :	ゞよい。	· である) · · · a · · · b · · · c		0	*	や優れて	<u> </u>			<u> 1</u> の計	価に該当	■劣	; <u>~~</u>	\S				

考查項目

細 別

工種

工事成績採点の考査項目

目の考査	項目	別運	用表			(検査	[員]
b		С		d		е	
ら判断する。<判断基	準参照>[関連基準、	文書で:	指示を行った	補修	指示を行って	た
が補修指示を行った。							
が文書で指示を行い改	善された。						
処理されている。 所に搬出している。 ため段切等適切に施工 う施工している。 出来形についても適切 いる。 に立されている。 注意を払切に施工管理さ 出来高も適切に管理さ	である。 ている。 されており	仕上がりもも	ま準値を満 反	₹している。			
よいでください。 はらつきで判断不可能 b b c	② 削 計: ③ 割	除項目のあ 算の値で評値 「無価値(%)	る場合は削 面する。 = () 評	うち、評価対象外 余後の評価項目数 西数/評価対象項目 頁目数が2以下の	を母数とし 目数 ()	て、比率(%	%)
憂れている	□ 他の	評価に該当い	■ 劣っ	ている			

3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	林道土工工事	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値 土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	〉[関連基準、	文書で指示を行った	補修指示を行った								
			●「評価対象項目」	A + B 30 B A B B B B B B B B										
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、	資査員が補修指示を行った。										
			□ 上記該当項目があれば・・・・・・・e											
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、	監督員が文書で指示を行い改善された	÷-0									
			□ 上記該当項目があれば・・・・・・ d	□ 上記該当項目があれば・・・・・・・ d										
			□ 基礎地盤が急勾配の斜面では、法面の崩壊や不当沈下の「□ 盛土中の暗渠、管等の構造物のある場合は偏圧の架から。□ 路床、排水路等は設計図書により施工・管理されており、□ 着手前に、崩壊、湧水等を調査確認し適切な排水対策・リエ:□ 地すべり、崩壊等のある場合は、適切な予防法により工:□ 掘削等により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止。□ 道路の横断勾配、幅員、基準高、土質等について設計図:□ □ 道路の横断勾配、幅員、基準高、土質等について設計図:□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□□ 掘削面の土砂等は、乱さないように丁寧にすき取り、適切な場所に搬出している。 □□ 基礎地盤が急勾配の斜面では、法面の崩壊や不当沈下の防止のため段切等適切に施工している。 □□ 盛土中の暗渠、管等の構造物のある場合は偏圧の架からないよう施工している。 □□ 路床、排水路等は設計図書により施工・管理されており、その出来形についても適切である。 □□ 着手前に、崩壊、湧水等を調査確認し適切な排水対策がされている。 □□ 地すべり、崩壊等のある場合は、適切な予防法により工夫され施工されている。 □□ 掘削等により、立木等に損傷を与えず、また飛散の防止等にも注意を払って施工されている。 □□ 旗路の横断勾配、幅員、基準高、土質等について設計図書等に基づき適切に施工管理されており仕上がりも基準値を満足している。 □□ 仮設道路、仮設施設について設計図書により施工・管理され、出来高も適切に管理されてる。 □□ 仮設道路、仮設施設について設計図書により施工・管理され、出来高も適切に管理されてる。										
			※上記該当項目を評価した後、ばらつきの判断を加えて下表で	評価してください。										
			●判断基準 ばらつきで判断可能 #DIV/0! % 50%以下 80%を超え 80%を超え 75%以上90%未満 ## □ b □ b □ b □ c □ c □ c □ c □ c □ c □ c	B B B B B B B B B B	削除項目のある計算の値で評価評価値(%)=	東項目」のうち、評価対象外 5場合は削除後の評価項目数 する。 = () 評価数/評価対象項目 D評価対象項目数が2以下の	を母数として、比率(%) 目数()							
	Ⅲ. 出来ばえ	林道土工工事	□ 優れている □	やや優れている U d	也の評価に該当 しない	■ 劣っている								
			● 評価対象項目 □ 切取勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 □ 盛土勾配が確保され、法面の仕上げがよい。 □ 道路の形状 (線形、拡幅、縦、横断勾配、土側溝) がよい。 □ 井工の仕上げがよい。 □ 全体的な美観がよい。 □ 残土処理等が適切である。 □ その他 (理由:) ● 判断基準 該当 5 項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,										

老本百 日	√m □il	工 錘		- 1 /94 /194 1914 1/11		b	<u>, </u>		/3 4 / / / / / / / / / / / / / / / / / /		d		_
考查項目	細別	工 種 木材木製品工		a	Ш	α		Ш	С		α		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	事(木ダム、 本橋、木土留 工、木流路工 等)	土木工事施コ	式験結果のばらつきと評価対象項 L管理基準、その他設計図書に定			5。<判断基注	準参照>[関連基準、	文書で	指示を行った	補値	指示を行った
			●「評価: 品質	対象項目」 質関係の測定方法又は測定値が不	適切であった	ため、検査員が補修指	示を行った。			·			
			□上記	記該当項目があれば・・・・・・	• • • • e								
			品質	質関係の測定方法又は測定値が不	適切であった	ため、監督員が文書で	指示を行い改	善された。					
			□上記	記該当項目があれば・・・・・・	• • • d								
				オ・木製品の品質が良好で(曲が 兼書で定められている品質管理が み立て等のボルト等の締め付けが オ・木製品どうしの接続が良好で 品・材料等の品質及び形状が設計 オ・木製品による地山及び構造物 の他(理由:	実施されてい 確認できる。 規定どおり施 図書等との適	る。 工されている。 切性を確認できる。		-					
			※上記該	当項目を評価した後、ばらつきの)判断を加えて	下表で評価してくださ	٧٠.						
			●判断	ř基準	つきで判断可	AL I	判断不可能	(Ī) \(\frac{1}{2}\)	当該「評価対	象項目」の	うち、評価対象外	の項目は削	除する。
			並 909	#DIV/0! % 50%以下 %以上 ##□ a	80%以下 80°	%を超える	b b		川除項目のあ 算の値で評価		除後の評価項目数	を母数とし	て、比率(%)
				6以上90%未満 ## □ b b b	b		b c				価数/評価対象項 項目数が2以下の		価とする。
			1E 600	%未満 ## □ b	_ c _	С	С						
	Ⅲ. 出来ば	木材木製品工 事(木ダム、 木橋、木土留 工、木流路工 等)		優れている		やや優れている		□ 他の しな	評価に該当い	■ 劣っ	ている		
			□ 金』 □ 形* □ コ: □ 地↓ □ 全(†象項目 りがよく、バランスが保たれてい 具等規格にあったものが使用され 犬・寸法が確保され統一性がよい ンクリート構造物へのすり付け等 山への密着性が確保され仕上げが 本的な美観がよい。 ひ他(理由:	統一性がよい。 がよい。	0							
			該当 4 該当 3	準 項目以上・・・・・・ 項目・・・・・・・・・ 項目以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b c								

考查項目	細 別	工 種		a		b		С		d		е
3. 出来形及び 出来ばえ	Ⅱ. 品質	その他の工事 (情報漢と ス、又は 等) マース 等) マース 等) マース で で で で で で で で で で さ に で さ に で さ に う で う さ う さ う さ う さ う さ う さ う う う う う う	品質関係の試験結果のば 土木工事施工管理基準、	らつきと評価対象項目 その他設計図書に定め	目の履行状況(評付 けられた試験]	西値)から判断する。<判断ま	基準参照>[関連基準、	文書で扌	旨示を行った	補修指示	そを行った
		#DIV/O!	□ 上記該当項目が □ 品質関係の測定 □ 上記該当項目が □ 理由: □ ※評価値が90% ※評価値60%以	あれば・・・・・・	・・・・e 適切であったため ・・・・d ・a ・b	、検査員が補修指示を行った。						
	Ⅲ . 出来ばえ	その他のエター・ できない できない できない できない できる できる できる 切り	● 評価対象項目 □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理由: □ 理相 : □ 理	ている		やや優れている ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		評価に該当い	■ 劣っ [~]	ている		

			1					1,		. /4 10	/ 14		
考查項目	糸	田別	工種		a			b		С		d	е
3. 出来形及び出来ばえ	п.	品質	その他の工事 (情報ボエータ (情報 では、 (情報 では、 (では、) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも) (でも	品質関 土木工	係の試験結果のばらつきと評価対象項 事施工管理基準、その他設計図書に定	頁目の履行状況 Eめられた試懸	兄(評価値) 検]	から判断する。<ム	判断基準参照	>[関連基準、	文書で	指示を行った	補修指示を行った
					「評価対象項目」 品質関係の測定方法又は測定値が 上記該当項目があれば・・・・ 品質関係の測定方法又は測定値が 上記該当項目があれば・・・・ 理由:	ある場合は削 価する。 = () 評	除後の評価項目数 価数/評価対象項	トの項目は削除する。 かを母数として、比率(%) 目数() り場合は c 評価とする。					
	ш.	出来ばえ	その他の工事 (情報ボックス、 (情報ボッエータース、 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)		優れている		<i>\$</i> \$	9優れている		他の評価に該当 しない	■劣つ	ている	
				• 1	評価対象項目 理由: 和斯基準 該当 4 項目以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b c d	ごし、評価対約	象項目は最大5項目	1とする。				